

2017年度前期	知の市場(シラバス)	継続
----------	------------	----

科目No.	共催講座PT211c	科目名	感染症総合管理1c				副題	感染症との闘いー現在問題となっている感染症ー			
連携機関名	国立感染症研究所	水準	中級	教室定員	35	配信定員	0	講義日時	火曜日 18:30～20:30	拠点 (開講機関)	東京・戸山 (国立感染症研究所)
科目概要(300字)	感染症の発症メカニズムおよび過去・現在・未来に問題となる感染症をわかりやすく解説する。それとともに、感染症に対して人類がどのように闘っているのか、またその中で専門機関、特に国立感染症研究所(感染研)が果たしている機能についても解説する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
総論	1	感染症序論	感染症とは何かを概説し、我が国及び諸外国で問題となっている感染症の全体像を紹介する。また、感染症の原因微生物を生物学的観点から解説し、当科目の導入部とする。	2017/4/4	国立感染症研究所 戸山庁舎 会議室	倉根 一郎	倉根 一郎	国立感染症研究所 所長
	2	感染症の発症機構	感染症がどのように起こるのかの発症機構をヒトおよび病原体側から解説する。特に、人体病理の面から人体の組織等の画像を用いて目で見て理解を深める。	2017/4/11			鈴木 忠樹	国立感染症研究所 感染病理部室長
	3	バイオセーフティとバイオセキュリティ	感染症の検査や研究においては病原体等の取扱いは必須であり、病原体等の取扱いに関わるバイオセーフティおよびバイオセキュリティの理念や実践、また、関係する規則などについて概説する。	2017/4/18			棚林 清	国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室長
	4	国際的な感染症危機と感染症サーベイランス	感染症に国境はない。迅速な対応の為感染症危機に対する監視体制が重要である。感染症サーベイランスとはなにか、感染症危機探知のための国内の仕組み、国際的な枠組みについて、新興感染症等の具体例を用いながら解説する。	2017/4/25			大石 和徳	国立感染症研究所 感染症疫学センター長
	5	病原体ゲノム	昨今の次世代シーケンシング技術(Next-Generation Sequencing: NGS)による革新は目覚ましく、ヒトのゲノム解説はもちろん、高度な感染症診断へも応用されている。ゲノム情報は病原体の種・遺伝型・薬剤耐性・病原性といった複合的な情報を一度に提示してくれる可用性・継続性の高い情報源であり、感染症対策に応用された具体例を用いて概説する。	2017/5/2			黒田 誠	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター長
各論	6	媒介昆虫と感染症	昆虫(蚊、ダニ、ハエ等)を媒介として病原体がヒトに感染する感染症にはどのようなものがあり、国内国外でどの程度問題になっているのか、その現状を紹介する。また、伝播メカニズムや予防法についても解説する。	2017/5/9			沢辺 京子	国立感染症研究所 昆虫医科学部部長
	7	重篤な真菌感染症	真菌は俗にカビと呼ばれており、日常生活で遭遇する身近な微生物である。真菌が原因となる病気として白癬(いわゆる水虫)が知られているが、生命を脅かす重篤な真菌感染症が増えており、医療現場では対応に苦慮する場合も多い。ヒトに病気を起こす真菌の種類や性質と、代表的な真菌がおこす病気について概説する。	2017/5/16			宮崎 義継	国立感染症研究所 真菌部部長
	8	寄生虫と感染症	我が国で問題となっている寄生虫感染症及び発展途上国で問題となっている寄生虫感染症の概要を説明する。また、海外に出かけるときの予防対策上、留意すべき点についても紹介する。	2017/5/23			山崎 浩	国立感染症研究所 寄生動物部主任研究官
	9	細菌性食中毒	我が国に於ける細菌性食中毒としては、腸管出血性大腸菌により汚染された食材を原因とする集団食中毒事例が記憶に新しいが、サルモネラ、腸炎ビブリオ、カンピロバクター等、他にも食中毒を引き起こす病原性細菌は多い。細菌性食中毒の発生状況を紹介し、個々の病原性細菌による発症機序等について概説する。	2017/5/30			森田 昌知	国立感染症研究所 細菌第一部主任研究官
	10	ウイルス性食中毒	ノロウイルスは、ウイルス性食中毒の原因ウイルスとして広く知られている。サボウイルスやロタウイルスもウイルス性食中毒の原因となる事が明らかにされている。これらのウイルスの一般的な知識と最近の研究内容を紹介し乍ら、ウイルス性食中毒予防、治療薬、ワクチン等について考える。	2017/6/6			片山 和彦	国立感染症研究所 客員研究員
	11	ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)	ヒト細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)は成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)、HTLV-1関連脊髄症(HAM/TSP)およびHTLV-1ぶどう膜炎(HU)などの関連疾患を引き起こす。これらの疾患はHTLV-1感染者(キャリア)から発症するが、キャリアの大部分は無症状である。HTLV-1感染症について診断、予防、治療を中心に最近の知見を交え解説する。	2017/6/13			大隈 和	国立感染症研究所 血液・安全性研究部室長
	12	ウイルス性出血熱	1976年に初めて発生が確認されたエボラ出血熱は、2014-15年に西アフリカで大きな規模で流行し、1万人を超える患者が死亡した。一方、日本でも致死率が約30%のウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群と呼ばれる感染症が流行している。これらのウイルス性出血熱の流行の背景と対策について解説する。	2017/6/20			西條 政幸	国立感染症研究所 ウイルス第一部部長
	13	デング熱	デング熱は、世界的には最も大きな流行を起こしている蚊媒介ウイルス感染症である。突然の高熱で発症し、その多くは関節痛、筋肉痛、頭痛を伴う。解熱傾向とともに、出血傾向を呈し重症化することがある。今後のデング熱国内発生に備えて、実験室診断法に関して病気との関係について詳述する。	2017/6/27			林 昌宏	国立感染症研究所 ウイルス第1部室長
	14	MERS	MERSコロナウイルスは、2012年にサウジアラビアで見つかった重症肺炎を引き起こす病原体である。アラビア半島周辺のヒトコブラクダに風邪の病原体として蔓延している。最新の知見を元に、この病原体の注意すべきポイントは何か、日本ではどのような対策がとられているのかを解説する。	2017/7/4			松山 州徳	国立感染症研究所 ウイルス第三部室長
	15	性感染症/エイズ	エイズは、1981年に突如現れ、だれも予測できない規模で世界中にその感染を拡大している。2007年末の世界中のHIV感染者数は推計約3200万人であり、これまでに既に約6000万人のヒトが感染したと予測されている。エイズとHIVの疫学、ウイルス学、発症病理等を説明し乍ら、最新の治療法と予防法について紹介する。	2017/7/11			村上 努	国立感染症研究所 エイズ研究センター室長

2017年度前期		知の市場(シラバス)						継続			
科目No.	共催講座 YB611b	科目名	狭山を学ぶ 企業編b				副題	狭山を彩るものづくり企業シリーズb ー狭山工業団地エリア編ー			
連携機関名	狭山商工会議所 狭山市	水準	中級	教室定員	40名	配信定員	0名	講義日時	木曜日18:30～20:30	拠点 (開講機関)	埼玉・狭山 (狭山商工会議所、狭山市)
科目概要(300字)	狭山市は、人口約16万人を擁し、豊かな緑の中に2つの工業団地を抱える首都圏を彩る中核都市である。1982年以降、狭山市の製造品出荷額は県内第1位を維持し、約1兆4千億円の出荷額を誇るものづくりの都市である。こうした狭山の地が育んできたにもかかわらず日頃触れる機会の少ないものづくりの精神と技術や経営について、狭山市の特性を活かしながら内外に大きく羽ばたく企業の歴史、概要、技術などを広く紹介する。その中で、昭和40年代に埼玉県企業局により造成された狭山工業団地とその周辺企業の活動を紹介する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属
はじめに・開校式	1	ものづくりにおける物の見方・考え方	国内外の伝統的文化・生活とその環境から生まれた工夫・アイデアを検証しつつ、伝統的技術と近代的技術の融合がもたらす物の見方・考え方について論じる。	2017/4/13	狭山市産業労働センター多目的スペース(1階)	狭山市産業労働センター栗原博文	長谷川秀夫	分析産業人ネット 委員
ものづくり企業の技術と経営―事例研究：狭山工業団地エリア企業―	2	地域企業としての環境ビジネス(サービス)への更なる挑戦	廃棄物とは何か？廃棄物の処理及び清掃に関する法律の位置づけを明確にし、その中心となる「廃棄物処理法」の概要を解説する。さらに、産業廃棄物と一般廃棄物などの基礎的な知識から、特に産業廃棄物処理の課題と対応を解説し、現状の、地域としての対応等を紹介する。	2017/4/20			小見山銀蔵	小見山商事 代表取締役
	3	ツイストボール型電子ペーパーの開発	開発型企業である綜研化学の新事業開発の一例として、新しい表示材料であるツイストボール型電子ペーパーの商品化までの経緯を紹介する。特に、本開発では、自社のシーズを新しい事業に結びつけるため、大学の先端技術とのコラボレーションや、狭山市等の公的バックアップ制度を有効に利用したことがキーワードとなった。	2017/4/27			滝沢容一	綜研化学
	4	クラシックギター製造にかける情熱と技術	クラシックギターは世界各地から目的に合った木材を輸入して制作する。木材は温度・湿度によって伸縮するのでシーズンと工房内の温湿度管理が工作精度のカギとなることを紹介する。また、芝浦工業大学との共同研究から得られた成果についても言及する。	2017/5/11			櫻井正樹	河野ギター 代表取締役
	5	創業から成長そして現在・未来	創業以来最先端の技術を目指して進んできた88年間を経て到達した最先端の技術を駆使する光通信機器事業部の現状とその苦難の道について紹介する。技術者の苦悩の陰にしか成功はないことを技術者が熱く語る。	2017/5/18			大島文彦	七星科学研究所 開発センター長
	6	ビリヤード競技の魅力と技術と歴史	ビリヤードキュースティックの高級ブランド「MUSASHI」を持つアダムジャパンのビリヤードキュースティックを製造し続け40年。その創業と歴史そして未来を語る。また、ビリヤード競技の魅力とキュースティック製造の技術を紹介する。	2017/5/25			高平睦生	アダムジャパン 代表取締役
	7	創業・歴史・精密技術・そして未来へ	間野庫之助が立川で創業以来、社会に貢献する精密部品製造に一貫して精神を注ぎ、バランスの取れた「小さな一流企業」を目指し経営を続け、2006年に「元気なものづくり企業300社」に選定された。その歴史と狭山への移転の決断そして未来について経営者が語る。	2017/6/1			林 愛子	マノ精工 代表取締役
	8	水晶デバイスに見る成長と技術	狭山事業所の生産品目と主な用途、水晶製品の技術と製造、そして水晶製品の今後の展望とNDKが目指すものについて、未来に向けて紹介する。	2017/6/8			猪狩勇人	日本電波工業 技術管理室主任技術員
	9	新商品開発の取り組みについて	八千代工業は2020年のありたい姿として「卓越した技術と特徴ある製品でワールドワイドプレーヤーになる」ことを掲げている。研究開発力の強化は必要不可欠であると考え2012年6月に次世代研究開発を行う部門を新設した。「先進技術と革新商品の継続的創造」を目的として取り組む新規商品の技術開発について紹介する。	2017/6/15			(未定)	八千代工業
	10	シチズン時計MFの歴史と精密加工技術	シチズン時計マニファクチャリングはシチズンのグループ企業として、精密加工を基幹技術として数多くの分野でのインベンションを手掛けてきた。当社の持つ精密加工・マイクロ加工を紹介するとともに、その技術を生かした生産分野や、産業を通じての社会への影響を紹介する。	2017/6/22			臼井伸一	シチズン時計マニファク チュアリング
	11	アイ電気 の成長と変貌、今後のIT・IOT社会を語る	アイ電気は現社長の祖父が創業し、部品製造から精密機械部品組み立てを経て、コンピューター、インターネットの普及をいち早く察知し、地域での同技術の普及と事業への導入を支援する会社へと変貌してきた。時代とともに変化する業態を自社の歴史とともに解説し、今後のあるべき成長と未来の企業の姿と「夢」を伝える。	2017/6/29			吉田徹弥	アイ電気・テクノクルーズ
ものづくり企業の研究開発と起業―事例研究：インキュベーション 入居企業―	12	工学シュミレーションの世界～構造解析を中心に～	産業界の動向と対比させながら構造解析の発展の歴史を觀察する。そして、具体的な現場の解析事例を紹介しながら、産業界におけるコンピュータを利用した工学シュミレーションの役割と重要性を論じる。	2017/7/6			山縣延樹	エイシーティー 代表
	13	機能性人工結晶を使用した光ファイバー関連部品	電子機器、LED照明器具、あるいは通信機器には素子として様々な人工結晶が使用されている。しかし、これらの結晶自体は部品であるために直接目に触れることがない。ここではフルウチ化学㈱がさやまインキュベーションセンター21で行っている光ファイバー関連製品開発をとりあげ人工結晶の実用製品への応用例を紹介する。	2017/7/13			細川忠利	フルウチ化学
	14	未来への挑戦	レーザーを応用した光学製品の研究と開発を長年にわたって手掛けてきた。その企業の経営や技術開発の苦節を紹介する。	2017/7/20			服部義次	ツクモ工学 代表
まとめ・ものづくり地域のポテンシャルと今後	15	狭山市の産業の強みと弱み 将来に向けての方向性	狭山市には多くの企業が存在するが、その大きな部分になる狭山工業団地の企業の活動の強み・弱みを分析し、将来に向けての方向性そして地域として日本としての産業の方向性を探る。	2017/7/27			森下 正	明治大学政治経済学部教授

2017年度前期		知の市場(シラバス)						継続新規				
科目No。	共催講座UT114c		科目名		化学物質リスク評価3			副題	必要な情報やデータをどう入手し活用するかを基礎から学ぶ			
連携機関名	花井リスク研究所		水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	火曜日14:10～17:15 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・放送大学文京学習センター (東京知の市場・放送大学(協賛))
科目概要	「リスクに基づく意思決定」が喧伝されるが、その考え方が社会に根付いたとは言えず、事業者の自主管理の取組みも十分ではない。化学物質のリスクとはなにか、化学物質との接点・シナリオをどう考えるか、有害性と暴露をどのように推定するか、不確実性の大きなデータをどう処理し判定するか、これらの観点を初歩から、できるだけ広く、基本的な推算モデルの実例を交えて解説する。											

	No.	講義	講義概要	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属
はじめに	1	リスク評価概論	本科目の狙いと全体像の把握のために、化学物質の総合安全管理におけるリスク評価と管理の考え方の概要と最近の動向を述べる。リスク評価のためには、状況や目的等を記述するシナリオを具体的に描くことが重要である。これまでの国内外の事例を紹介する。	2017/4/4	放送大学 東京文教学 習センター	花井 荘輔	花井 荘輔	花井リスク研究所
	2	最近の動向 いろいろなシナリオ事例						
有害性と暴露 の評価	3	ヒト健康影響	化学物質はヒトの健康に対して多種多様な有害影響を及ぼす可能性をもつ。量と影響の大きさの関係を定量的に知る必要があり、閾値ありモデルと閾値なしモデルがある。動物データをヒトへ外挿するには、不確実性係数の問題がある。発がん性評価と非発がん性評価を統一しようとする最近の話題にも触れる。	2017/4/11				
	4							
	5	環境生態影響 データ予測	環境生態リスク評価は、実際に生息する動植物の評価が基本であるが、藻類・ミジンコ・魚類の水生生物の試験データで代表させることが多い。リスク評価に必要な多くのデータは不足している場合が多いが、各種の予測モデルが提案されている。適用性・検証の程度等に留意して使う必要がある。	2017/4/18				
	6							
	7	暴露評価の重要性 環境経由の暴露	「リスク＝有害性×暴露」だが、暴露が看過され有害性のみで議論されることが多いが、暴露を推定して有害影響が発現する可能性を評価することは必須である。環境暴露では、排出量、環境中での分布・分配・分解、濃度及び取込み（吸入・経口・経皮）量の推定が問題である。代表的な単一媒体モデル・多媒体モデルを解説する。	2017/5/9				
	8							
9	作業者暴露 消費者暴露	作業者暴露に関して、実測を補完するために重要な推算モデルの原理と事例を述べる。消費者暴露評価には、ConsExpo等がある。	2017/5/16					
10								
判定と管理	11	リスクの判定 リスクの管理 リスクベネフィット解析	リスクの指標と判断基準から受容・削減・回避・移転等を検討する。リスク削減手段には、法規制・プロセス内技術・終端処理技術等がある。リスクに基づく意思決定には、リスクとベネフィット・コストのバランスを考慮しなければならない。いわゆる社会経済性分析のいくつかの観点を整理し、事例を紹介する。	2017/6/6				
	12							
	13	不確実性評価	リスク評価に用いる情報には、集団の体重のようなバラつきによる変動性と、シナリオ・モデル・データに関する知見の不足による不確実性がある。これらの定量的解析手法－モンテカルロ法等－を解説する。より精度の高い評価には、データの分布状態の表現と確率的解析のための統計解析が不可欠である。	2017/6/13				
	14							
まとめ	15	補足 まとめ	化学物質のリスク評価には、学際的な諸問題が関係する。「リスクに基づく意思決定」は、化学物質管理の問題に限られず、社会生活全般にあてはまる。正解を求めることが困難な状況では、利害関係者の情報とデータに基づく意見交換による対話を通した弁証法（正→反→合）的合意形成を迫る必要がある。	2017/6/20				
	16							

科目No.	共催講座 UT812	科目名	プロフェッショナル論				副題	楽しく豊かな人生を創造するプロフェッショナルの心得			
連携機関名	放送大学	水準	中級	教室定員	10	配信定員	0	講義日時	日曜日14:10~17:15 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・放送大学文京学習センター (知の市場・放送大学(協賛))
科目概要(300字)	天然資源が相対的に殆んどない日本が世界トップクラスの繁栄を達成したのは何故だろうか。それは日本の国民が「よく」働いたからである。逆に言うと、このことが無ければこの国の繁栄は維持できない。「よく」働くとは、単に勤勉に多くの時間を働くことではない。何の仕事をするにせよ「プロフェッショナル」に仕事をするということである。全ての仕事に共通する「プロフェッショナルとは何か」を考え、「如何したらプロフェッショナルな仕事をすることができるか」を考える。さらにその一端を演習により実践して受講者自身でそれを継続的に実行できる入口まで体験してもらう。それによって各個人々々が楽しい豊かな人生を創造し過ごすことに繋がることを目指している。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属
プロフェッショナルの基礎理論	1	プロフェッショナルとは何か	誰でも「プロフェッショナル」と言えるような人間になりたいと思っているであろう。その為には「プロフェッショナル」とは何かのイメージを明確に描いておく必要がある。「プロフェッショナル」とは何かを論じて、個人々々の日々の努力が向かうべき先のイメージを明確にする。	2017/4/9	放送大学 東京文京学 習センター	下條佑一	下條佑一	経営研究所 ySymphony代表
	2	如何にしたらプロフェッショナルな仕事ができるか	プロのスポーツ選手は、もてる身体能力を充分成果に結び付ける為に必要な技(わざ)を真剣に稽古している。然るに、知的仕事をしている人(例えば企業で働いている人)の殆んどはプロフェッショナルな成果を生む為の技(わざ)を明確にしていない。それらの技(わざ)を理論的に明確にする。					
プロフェッショナルの基本技(わざ)	3	プロフェッショナルな仕事をする為の技(わざ)体系	プロフェッショナルは仕事の目標をもっている。その目標達成の為の施策は体系的に構築されて始めて効果的・効率的に目標を達成することが出来る。本講義ではその施策体系を技(わざ)体系として紹介する。その内特に、目標達成の為の論理構造をデカルトの著書「方法序説」にある「因果律」を使って紹介する。	2017/4/23				
	4	技(わざ)「分解と統合」の演習	技(わざ)「分解と統合」の理論は単純だが、その実践はやや複雑である。受講生にこの技(わざ)の実践をしてもらう。その実践研修過程で技(わざ)を研く上でのツボを紹介し、その後個人々々が自分で研鑽し技(わざ)を上達できるようになるための助走を提供する。					
	5	『「よい」とはどういうことか」を考える技(わざ)	プロフェッショナルは何のしごとであれ「よい」仕事をしなければならない。然るに、この「よい」ということ自体は意外に明確にされない場合が多い。従って仕事の成果も中途半端に成り勝ちである。この「よい」を理論的に構築する技(わざ)を紹介する。	2017/5/14				
	6	『「よい」とはどういうことか」を考える技(わざ)の演習	技(わざ)『「よい」とはどういうことか』の理論は単純だが、その実践はやや複雑である。受講生にこの技(わざ)の実践をしてもらう。その実践研修過程で技(わざ)を研く上でのツボを紹介し、その後個人々々が自分で研鑽し技(わざ)を上達できるようになるための助走を提供する。					
	7	技(わざ)「システム思考」	プロフェッショナルの仕事の成果は、「新たに構築されたシステム(含:やり方)」である場合も多い。この場合物事をシステムティックに考える方法論が役に立つ。システムを効果的・効率的に構築する考え方を技(わざ)「システム思考」として紹介する。	2017/5/28				
	8	技(わざ)「システム思考」の演習	技(わざ)「システム思考」の要諦は単純だが、その実践は簡単ではない。受講生にこの技(わざ)の実践をしてもらう。その実践研修過程で技(わざ)を研く上でのツボを紹介し、その後個人々々が自分で研鑽し技(わざ)を上達できるようになるための助走を提供する。					
	9	問題解決・課題達成の技(わざ)	プロフェッショナルの仕事の多くは問題解決・課題達成の連続である。そしてそこには達成感という喜びがある。この問題解決・課題達成のプロセス自体を論理的に構築し初期の目標を達成する為に役立つ「問題解決・課題達成の技(わざ)」を紹介する。	2017/6/11				
	10	問題解決・課題達成の技(わざ)の演習	この技(わざ)は色々な技(わざ)の複合体として成り立っている故、その習熟には相応の稽古が必要である。受講生にこの技(わざ)の実践をしてもらう。その実践研修過程で技(わざ)を研く上でのツボを紹介し、その後個人々々が自分で研鑽し技(わざ)を上達できるようになるための助走を提供する。					
	11	時間に関する技(わざ)	時間は命そのものである。即ち時間の消費は命の投資である。従ってその生産性の大切さは誇張しても過ぎることはない。長期に亘りプロフェッショナルな仕事をする為の時間の生産性を量的・質的両側面から論理的に考察し、其れを実行する技(わざ)を提供する。	2017/6/25				
	12	「気」高める技(わざ)	プロフェッショナルが間断なくよい仕事をする為に根本的に必須の元手は「体力」と「気力」でる。気が萎えると体力をも損なわれる。ストレスの多い状況下では気力の充実の継続は簡単ではない。如何なる場合でも「気力」を維持向上する為の幾つかの技(わざ)を、それらを実践するためのツボと共に紹介する。					
プロフェッショナルの理論と技(わざ)の応用	13	Dream Plannning と人生のプロフェッショナル	ある領域でプロフェッショナルを目指すということは別の見方をすれば、それは「夢の実現」ということになる。そして延いては人生のプロフェッショナルを目指すことになる。これまでの講義の知識を総合的に活用して Dream Plannning と人生のプロフェッショナルを論ずる。	2017/7/9				
	14	「Dream Plannning と人生のプロフェッショナル」の演習	この一見抽象的なテーマも、これまでの講義で得た知識を総動員すると具体的姿を現す。受講者に各人の夢の実現計画の策定と人生のプロフェッショナルのイメージを描き出すことに挑戦してもらう。これによってより豊かな人生がえられるとの思いを高める。					
	15	「わくわく」の原理	プロフェッショナルな仕事を続ける為の最強の牽引力は毎日続く「ワクワク感」ではないだろうか。これは仕事の成功の「結果」得られるとの現実もあるが、寧ろよい仕事をする為の「要因」であるとの見方がより有効である。その考えを論理的に確認し全講義のまとめとする。	2017/7/16				

2017年度前期	知の市場(シラバス)	新規
----------	------------	----

科目No.	共催講座BC519	科目名	リチウムイオン二次電池論				副題	リチウムイオン二次電池開発の歴史に見る技術革新の成否の要因			
連携機関名	東洋システム	水準	中級	教室定員	80	配信定員	0	講義日時	金曜日 18:30～20:00	拠点 (開講機関)	京都・京都駅前 (東洋システム)
科目概要(300字)	リチウムイオン2次電池(LiB)の用途は、オーディオ・ビジュアル機器を嚆矢とし、パソコン、携帯電話用へと拡大し、いまでは、モバイル機器にとって必須のデバイスとなっている。「ケータイも電池がなければ唯の箱」と言われる所以である。さらに、昨今は電動自動車用電源や定置型電池としての検討も進み、新たな用途の拡大に伴い、LiB への要求や課題が多岐に渡ってきている。日本企業はマテリアル・サイエンスの理論を現実的な技術に展開することによって、LiB を世界で初めて開発することに成功した。こうしたLiB 創出には、R&D マネジメントに関しても周辺との軋轢を超えるために大きな努力を要した。こうした経験を踏まえて、LiB 実用化に至るまでに遭遇した課題を、技術的なものにとどまらず、研究開発管理上の問題、さらには経営上の問題にも視点を置いて紹介しつつ、新規ビジネス創出に至るまでの課題やその克服方法について論じる。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所(定員)	取纏め者	講師	所属
リチウムイオン電池の 開発の歴史と現状	1	過去～登場～現在	LIB は 1991 年に世界で初めてソニーにより市場導入された。LIB 開発はどのようになされ、どのような困難を克服して成功に至ったかを、材料技術(正極、負極、電解液、セパレーターなど)およびR&D マネジメントの面から検証する。	2017/4/7	京都テルサ	西 美緒 永井 愛作	西 美緒	ソニー社友
	2	最新のLIB市場情報	LIB用主要四部材である正極材、負極材、電解液、セパレーターの市場動向(製品、企業、地域動向等)を見つつ、当該業界にて結果を出しつつある企業の特徴について述べる。また、日本、中国、韓国のビジネス文化について、講師の実体験を基にもとにその違いについて講義を行う。	2017/4/14			稲垣 佐知也	矢野経済研究所
LIBを支える材料の役 割と開発秘話	3	正極材	様々な酸化物をリチウムイオン電池に適応するための課題、新技術、更なる高エネルギー密度化の技術動向等を解説する。また、従来の正極材料の高容量化技術として、 充電電圧を高めて使用する場合の課題とそれを解決するための技術を紹介する。	2017/4/21	TKP京都四条烏丸カ ンファレンスセンター		山崎 信幸	日本化学工業
	4	負極材	多様化する電池・電源システムに対応するため炭素系負極材料に代わる材料として高容量が期待できる合金系材料や高耐久、長寿命な金属酸化物系材料について材料設計から電池性能と課題について紹介する。	2017/5/19	京都テルサ		山田 将之	日立マクセル
	5	電解液	リチウムイオン電池が登場する以前のリチウム電池開発の発端、リチウム一次電池の実用化、リチウム電池の二次電池化の失敗などの経緯を説明し、リチウムイオン電池が成功した理由やその後の進歩や多様化など解説する。また、将来のポストリチウムイオン電池の可能性について、電解液材料の視点から研究開発の歴史について紹介する。	2017/5/26			安部 武志	京都大学
	6	セパレータ	LIB用セパレータは、異常時に電池反応を停止する機能を持つポリエチレン微多孔膜が使用されている。古くて新しいポリエチレン材料を薄膜・高度強化する技術、微多孔化する技術を解説すると共に、LIBの充放電変換効率、サイクル寿命、安全性等に及ぼすセパレータの性能と機能、最近の機能材料との複合化技術等を事例を挙げながら紹介する。	2017/6/9	京都テルサ		河野 公一	東レバッテリー セパレータフィルム
	7	バインダーと導電助剤	LIBに使用される導電助剤やバインダーは、その使用量が少ない割に電池の中で重要な役割を果たしている。化学的に非常に厳しい環境下で使用され、電極圧密化や、高速な巻回操作にも耐え、且つ優れたサイクル特性や電池の安全性にも貢献している。こうした用途に使用される各種の導電助剤やバインダーについて紹介する。	2017/6/16	京都テルサ		永井 愛作	永井技術事務所
	8	LIBの信頼性	大型化のニーズに伴い、LIBにはさらに高い信頼性が要求されている。電池の高性能化に対しては正規反応(Liイオンの挿入/脱離/拡散現象、電子・イオン伝導)の理解が必要であるのに対し、信頼性向上には副反応(材料の不可逆変化、ガス発生、発熱反応、金属析出等)の理解が必要である。この観点から最近の結果を紹介する。	2017/6/23	TKP京都四条烏丸カ ンファレンスセンター		佐々木 徹	豊田中央研究所
LIBの将来と産業の展 望	9	xEVへの応用と安全性規格	世界的なエネルギー・環境問題への懸念からEVやHV等の高性能環境車輛への関心が大変高まっている。最新技術を支える核心の一つは高性能二次電池の出現と性能向上であり、リチウムイオン電池は他の電池と比較し全く異なる際立った特性を顕している。環境車両適用に必要とされる二次電池の諸特性、安全性能に関して紹介する。	2017/7/7			野口 実	本田技術研究所
	10	LiBの将来	LIBが小型機器から自動車、更には電力貯蔵用の大型電池へと、その応用の期待が広がる中で、既存のLIBの更なる発展が望まれると共に、新しい形態を持つ蓄電池の開発競争も盛んになっている。現状のLiBのオペランド解析による作動条件下での反応から明らかになるLIBの開発課題と、その解決手法について紹介する。	2017/7/14			内本 喜晴	京都大学
	11	ポストLIB	約 20 年間、世界をリードしてきた日本の LIB であるが、EV 用など大型電池の登場、安全性問題、後発国の追い上げなど、新たな局面を迎えている。今後のLIBの方向性と各種提案されているポストLIBの可能性も含めて将来像を紹介する。	2017/7/21			京都テルサ	射場 英紀
	12	電池評価システム	LIBは技術の進歩により携帯端末機器などの民生用から車載、定置用と幅広く開発されており、用途に応じ様々な評価が行われ、特に信頼性を重視する車載用となると、膨大且つ長期間を要する評価データが必要である。それらの評価方法について、何が重要かを紹介する。	2017/7/28	丹野 諭			東洋システム

科目No.	共催講座CT543a	科目名	サステナブル消費論a				副題	消費者の行動をサステナブルにするためにはどうすべきかをともに考える			
連携機関名	サステナビリティ消費者会議	水準	基礎	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	土曜日13:00～17:10	拠点 (開講機関)	東京・お茶の水女子大学 (お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター)
科目概要(300字)	昨今、「サステナビリティ」「持続可能な開発」などの言葉がよく聞かれる。地球環境、資源の枯渇、児童労働、労働環境の悪化など持続不可能な問題が起き、持続可能な社会に向けた様々な主体による取組みが行われ、問題の解決に消費者の行動も期待されるようになっている。持続可能な社会と消費者をめぐる事例を通して消費者の行動の持つ意味、社会への影響力を考え、最後に消費者がサステナブル消費を実現するための啓発ツールとして「消費者市民チェックリスト」を検討する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属	
持続可能な社会と消費者の関係	1	持続可能な社会とは	私たちの社会や環境は未来の世代に引き継げるのかが問題になっている。世界および日本で、現在どのようなことが問題になっているかを解説する。	2017/4/15	お茶の水女子大学 生活本館124号室(第1講義室)	古谷由紀子 大島 昌子	古谷由紀子	経営倫理実践研究センター	
	2	持続可能な社会と消費者市民	わたしたちは、「安い」、「よい品質」、「安全・安心」などを理由に商品を選んでいるが、持続可能な社会に向けての消費者の行動に期待が集まっている。持続可能な社会と消費者をめぐる様々な問題を考察する。						
事例を通して問題を考察	3	事例1 選択と表示	商品選択の際の情報として表示は非常に重要である。実際に商品を見て比較し、どのような部分に注意して見ればよいのかについて考える。そのため、法定表示、注意表示、広告宣伝など表示の要素と意味について解説する。	2017/4/22				大島昌子	消費生活アドバイザー
	4	事例2 安全と表示	消費者に行った電子レンジのアンケート結果をもとに、安全と表示はどのような関係にあるか考える。これらを通して身近にひそむ危険を防ぐための消費者の行動について説明する。				林千弘		
	5	事例3 通信販売と広告	インターネット契約とクレジット決済のトラブル事例をもとに、通信販売の広告表示等について学び、トラブルに巻き込まれない賢い消費者市民になるとはどういうことかを考察する。	2017/5/13				梅澤貞雄	
	6	事例4 エネルギーと持続可能性	現在大きな問題となっているエネルギー問題について解説し、「持続可能な生産と消費」という側面から検討する。						
	7	事例5 ファッションと持続可能性	ファストファッションを通して、企業の取り組みと消費者の行動との関係を説明し、「持続可能な生産と消費」の在り方について考察する。	2017/5/20			小笠原むつみ		
	8	事例6 パソコン利用トラブル	「パソコンのOSが勝手にダウンロードされることになってしまった」というトラブルが起きて大きな社会問題になった事例を紹介し、原因は何か、事前の案内は十分かつ適切だったか、事後の対策などについて検討し、消費者からみた望ましい対応の在り方を考察する。						
	9	事例7 若者の消費者トラブル	20歳になると同時に契約をさせる業者がいる。未成年者には適用されている保護制度を消費者が使えるようになるタイミングを狙ったもので、民法の成人年齢引き下げの議論がなされている中、消費者はどのように考え、行動するべきかを「持続可能な社会」の観点から考察する。	2017/5/27			丸山琴野		
	10	事例8 ジュエリーと持続可能性	ジュエリーの国際的規模の生産・流通・消費までの流れと歴史・文化を解説し、「持続可能性」の観点から、社会との関係について考察する。						
		11	事例9 期購入トラブル	日々新たな消費者問題が発生する中で、インターネット通販の「定期購入」トラブルが増加し注目されている。「持続可能な社会」における消費者市民として、どのようなことに注意すればいいのかを検討する。			2017/6/3	丸山琴野	
		12	事例10 消費者の声の活用	企業や行政の相談窓口寄せられる消費者の声は、商品・企業・社会をよりよく変化させるために非常に重要である。実際の活用事例を紹介し、消費者の行動を持続可能な社会の構築に反映するための課題や方策について考察する。					
まとめと討論	13	消費者市民となるための行動とは	消費者が持続可能な社会の一員としての消費者市民となるための啓発資料を検討し、それをもとに、消費者の行動を促す「消費者市民チェックリスト」を検討する。	2017/6/10				古谷由紀子 他全講師	
	14	講義のまとめ、今後に向けて	各自が検討した消費者市民チェックリストをもとに、これまでのまとめを行い、今後、消費者が持続可能な社会に適切な役割を果たすための行動を考える。						

科目No.	共催講座CT528	科目名	化学産業特論					副題	プラスチック・ゴムを中心に、化学産業における基本技術と事業化について理解を深める			
連携機関名	社会技術革新学会 社会技術革新教育研究会	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	水曜日18:30～20:30	拠点 (開講機関)	東京・お茶の水女子大学 (お茶の水女子大学ライフワールドウオッチセンター)	
科目概要(300字)	化学産業は、20世紀の高度経済成長期に大きくその生産能力を伸ばすとともに、高分子分野に見られるように、製造から最終製品までの長いバリューチェーンの要所で多くの産業を生み出し、育ててきた。21世紀になって、製品開発を取り巻く環境は大きく変わろうとしているが、今一度ここまでの化学産業、特にプラスチック・ゴム産業における要素技術の歩みを振り返るとともに新しい動きを掴み、将来を展望する。具体的にはポリエチレンなど汎用高分子と、TV、スマートフォンなど各種電子製品に使われる機能性高分子を中心に、各要素技術について具体的に初心者にも理解しやすく解説する。また海外での工場建設や、海外での工場・研究所の運営に従事した経験者が、異文化の中で事業展開に必要な基礎的事項を盛り込んで説明する。											

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取締め者	講師	所属
化学産業とは	1	化学と化学産業と石油化学工業	化学産業は文字通り化学を基礎とし、新しい機能を有する物質を創出する産業である。簡単に化学の歴史を振り返り、化学産業、その中でも大きなウエイト占める石油化学産業、高分子工業について解説する。	2017/4/12	お茶の水女子大学 理学部1号館401号室	細田 覚	角五 正広	岩田商会
プラスチック・ゴムを製造する (工場運営、製造プロセス、触媒・重合)	2	石油化学工場の運営とグローバル化の課題	化学プラント建設のプロセス開発から商業運転までのプロジェクト概要について解説する。また、プラント建設を国内と海外で行う場合の、両者の違いと留意点、海外で活躍するエンジニアに求められる人物像や人材育成に関して述べる。	2017/4/19			鈴木 孝利	元・住友化学
	3	汎用プラスチックの工業的製造方法	石油化学工業の成長期に各社とも革新的な製造法開発に力を注ぎ、ほぼ現在の製造法を確立した。同時に商品としてのポリマーはその用途に応じた設計を求められ、多くの分野の研究者・技術者が成果を競った。その競争の渦の中で採まれ、サウジアラビアの大型プラントに到達した一技術屋の歩みを紹介する。	2017/4/26			宮崎 耕造	住化スタイロンポリカーボネート
	4	ポリマー製造のための触媒と重合反応の基礎	汎用プラスチック(ポリエチレン、ポリプロピレン)やゴムを製造するためには多種多様な触媒が利用され、これらの触媒を使ってラジカル重合、遷移金属配位重合、リビングアニオン重合など様々な重合法が用いられる。触媒と重合の基本、および将来動向について解説する。	2017/5/10			今井 明夫	テカノエイゼン事務所 北海道大学
	5	高分子の多様性	「高分子」は「polymer」と言われるが、「monomer(単量体)」を多数(poly)結合(重合)して得られる。単量体の結合の仕方でも様々な性質を持った高分子が得られることを解説する。	2017/5/17			角五 正広	岩田商会
プラスチック・ゴムの製品を設計する	6	汎用プラスチック高性能化のための構造設計	高分子は同じ原料から作っても、その構造は触媒や製造条件によって異なり、構造が異なることによって、性能、例えば機械的強度などが大きく異なってくる。汎用プラスチックについての構造物性相関と、そこから得られるの高性能化の方向性について解説する。	2017/5/24			細田 覚	京都工芸繊維大学
	7	ゴムの構造制御による高性能製品開発	省燃費タイヤにおけるウエットグリップ性と ころがり摩擦抵抗のように、相反する性能を同時に満足するための材料設計は、重合技術に基づく精緻な分子設計や配合技術の集大成である。この製品例に見られるような重合～構造制御～高性能化というアプローチによる製品開発について解説する。	2017/5/31			今井 明夫	テカノエイゼン事務所 北海道大学
	8	化学産業における計算材料科学の歩みとその実例	計算機を用いて分子や高分子材料・製品の設計を行う「計算材料科学」が産業においてどのように発展してきたか、そしてこの手法が化学産業、高分子産業においてどのような役割を果たしているかを、実例を挙げながら解説する。	2017/6/7			石田 雅也	住友化学
	9	CAE技術を用いた樹脂製品の設計・開発	プラスチックのCAEは、現在、自動車、家電、OA機器、各種容器等、プラスチック成形品の設計支援や製品特性のシミュレーションに必須の技術として活用されている。プラスチック分野におけるCAEの基本的な利用法について解説し、さらに振動解析や衝撃解析事例についても紹介する。	2017/6/14			東川 芳晃	京都工芸繊維大学
	10	高分子製品長持ちの科学	プラスチック・ゴム製品には安全で、長く安心して使用できることが求められるため、メーカーは種々の方法で材料・製品の耐久性能を評価し、改良している。空気中での熱や光による酸化、放射線や繰り返し応力など、各種劣化要因の作用と安定剤との関係、劣化の極初期を捉える評価方法などについて解説する。	2017/6/21			細田 覚	
プラスチック・ゴムを利用する	10	新しいエレクトロニクスの芽生え	有機材料が性能発現の鍵材料となる「有機エレクトロニクス」は、無機物主体のエレクトロニクスに変革を及ぼすものとして、精力的に研究が進められている。その先頭を走っている「有機EL」について、身の回りでの適用例を中心に、その原理、性能の秀逸さなどについて解説し、今後の進化の方向性と世の中への受容性について議論する。	2017/6/28			山田 武	住友化学
	12	マラリア対策のためのプラスチック加工製品	オリセツはポリエチレン樹脂に防虫剤を練りこんだ糸で作られた、世界最初の長期残効性防虫蚊帳(LLIN)である。現在でも世界で年間40万人以上が死亡する極めて深刻な感染症のマラリアによる死者数をここ数十年で半減することに大きく貢献した。オリセツの開発の経緯、効果のメカニズム、さらには今後の展望について解説する。	2017/7/5			庄野 美德	
	13	不思議エンブラの科学	耐熱性や強度が汎用プラスチックよりも数段優れているエンジニアリングプラスチックはスマホ、TVなどの電気・電子機器や、機械、歯車から、自動車、ロケットまで幅広く使われている。このエンブラの開発を通して培った技術開発の難しさ、現在の日本企業の抱える課題などについて、議論する。	2017/7/12			岡本 敏	
地球環境にやさしい石化製品を作る	14	バイオ技術を利用し、化学と触媒技術で作る基幹化学製品	これまで石油を原料として製造されている化成品を、未利用の廃グリセリンから製造する技術開発について解説する。グリセリンをバイオ技術によって、汎用的な中間原料へ変換し、続いて触媒反応によって、さまざまな高付加価値化学原料を生産する一貫工業プロセスを確立し、これによって地球のCO2増加を防ぐことができる。	2017/7/19			新井 隆	㈱ダイセル
事業のグローバル化への対応	15	グローバル化と人事制度	化学産業のグローバル化が進展する中で、海外進出(海外に工場を建設し、製品を生産する)を盛んに行ってきた企業での取組みを例に、人事諸施策がどのように変化してきたのか解説し、今後の方向性やあり方について考察する。	2017/7/26			挟間 新一	住友化学

2017年度前期		知の市場(シラバス)								継続	
科目No.	関連講座VT465b	科目名	原子力・放射能基礎論				副題	原子力と放射線の今、そしてこれから			
連携機関名	化学工学会SCE・Net	水準	基礎	教室定員	50名	配信定員	—	講義日時	土曜日 13:00～17:10 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・茗荷谷 (化学工学会SCE・Net)
科目概要(300字)	福島第一原発事故以来6年を経過した。直後の混乱状態から脱したものの、まだ根本解決への道筋が見えない状態にある。解決には、長い時間と多くの議論を要する。現場の現状を幅広い視点から理解した上で、対策について議論していく姿勢が重要である。事故の影響と収束への道筋を考えるために、原子力の体系的な知識と情報を提供する。第1部で原子力と放射能の基礎事項を再確認する。第2部で放射能の健康影響、福島原発の事故原因と新規制基準との関連や福島原発廃炉に関わる論点を整理し今後の方向性を探る。第2部前半では放射線の今、そして後半では原子力の今とこれからについて学ぶ。(2部編成で、各部毎に分割受講可。)										

科目構成		No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属	
第1部	基礎講義	1	原子力・放射能の物理と化学	原子や原子核の構造、周期表、人体と地球の組成、核種表、放射性同位体、原子核崩壊、化学反応と核反応の違いには大差があること、放射線の種類と特徴、放射線の呼称と物理・化学の単位、強い放射線とは、放射線が物体にあたった時起こることなど、原子力と放射能に関わる物理と化学の基礎を学ぶ。	2017/6/3	お茶の水女子大学	郷 茂夫 横堀 仁	郷 茂夫	SCE-Net	
		2	放射線と生命(1)	放射線から身を守るための生物学的基礎知識を学ぶ。放射線被ばくによって健康にまで影響が及ぶメカニズムはどのようなになっているのだろうか。そのキーになる生命現象をわかりやすく解説する。				谷田貝 文夫	早稲田大学・学習院大学	
		3	放射線と生命(2)	放射線による健康障害の発生とその防護について学ぶ。放射線被ばくによって発生した健康障害の事例をあげるとともに、一般的な放射線防護の策について説明する。	2017/6/10			青山 敬	日本技術士会原子力・放射線部会	
		4	放射線測定の基礎	放射線測定の基礎を学び、併せて放射線測定器を使った測定実習をする。放射線の種類、性質(空気中、水中で進む距離)並びに定義(法令との違い)について整理する。自然界に存在する放射線と福島で問題になっている放射線の違いや測定の方法について理解を深める。				桑江 良明	日本技術士会原子力・放射線部会、SCE-Net	
		5	核分裂と原子力発電	核分裂反応の特徴や問題点、原子力発電のしくみについて学ぶ。原発の種類と原子炉の様式や火力との違いについて解説する。原子炉燃料の構造など基礎的事項について学ぶ。原子力以外の他のエネルギーとの比較や海外の原子力動向について紹介する。	2017/6/17			河田 東海夫	日本原子力学会	
		6	核燃料サイクルの現状	ウラン資源探査、燃料製造、原子炉での燃焼、資料後の再処理、ならびに廃棄物としての処理処分までの核燃料サイクルを紹介する。使用済燃料は、直接処分と再処理処分の2方式がある。これら、高レベル廃棄物の処理処分の体系について解説する。				横堀 仁	日本技術士会原子力・放射線部会、SCE-Net	
第2部	実践講義	7	福島原発の現況(オンサイトの状況)	1Fの事故後の経過、国と現場の体制、現況(設備、施設など)、場内の放射能の強さ、汚染水問題、廃炉の技術的問題、廃炉工程、現地作業と時間、などについて、国、東電関係機関から公表されている情報を、分かりやすく整理して伝える。	2017/6/24			郷 茂夫 横堀 仁	横堀 仁	日本技術士会原子力・放射線部会、SCE-Net
		8	トリチウム問題	福島原発の汚染水の中で分離が難しいトリチウムについて、その発生源、性質、用途、健康への影響、現在世界で行われている処理方法、分離技術などについて解説する。					戸井田 良晴	SCE-Net
		9	除染と廃棄物処理(オフサイトの状況)	環境省が主導している、避難区域や汚染状況重点調査区域における除染の進捗状況について紹介する。除染により発生した2次廃棄物の処理処分の見通しについて述べる。また、避難区域での避難がどのような日本の法令や国の基準に基づいて実施されたかなど、オフサイトにおける事故後の現状について解説する。	2017/7/1				河田 東海夫	日本原子力学会
		10	低線量被曝の健康影響	低線量・低線量率放射線被ばくによる健康影響に焦点をあてて、過去の健康影響に関する疫学調査の結果について説明し、生物学的根拠がどのくらいあるかを考察する。					谷田貝 文夫	早稲田大学・学習院大学
		11	新規制基準の概要	原子力発電の安全がどのように確保されてきているか2つの視点を取り上げる。短期、長期のメンテナンスによる原子力発電設備の信頼性確保、及び、起こりうる事故の想定と対策について1F事故前と今の安全対策・法令について述べる。福島第一原発事故を踏まえて策定された新規制基準により、同様の事故の発生を防止できるのか考える。	2017/7/8				亀山 雅司	日本技術士会原子力・放射線部会、SCE-Net
		12	原子力発電の安全性における課題	地震、津波、火山、電源喪失、テロに対する安全性、安全目標と確率論的安全評価に関する講義を行う。					岡村 章	
		13	これからのエネルギーの選択肢	利用可能なエネルギー源の種類と長所、短所、特に、自然エネルギーの普及が容易でない社会的、技術的背景の整理をおこない、これからのエネルギーの選択肢について検討する。また、将来の原子力エネルギーに係る技術開発の進捗や話題テーマを解説する。	2017/7/15				亀山 雅司	
		14	原子力開発の歴史と将来	米国、欧州、日本の原子力開発の歴史と新型炉開発の動向、核融合開発の現状に関する講義を設ける。					岡村 章	

科目No.	関連講座LE472d	科目名	社会安全学d				副題	安全・安心に関わる科学技術の最前線			
連携機関名	関西大学	水準	中級	教室定員	100	配信定員	0	講義日時	木曜日18:15～19:45	拠点 (開講機関)	東京・関西大学東京センター (関西大学)
科目概要(300字)	関西大学は、2010年4月に、社会安全学部及び大学院社会安全研究科を開設した。この学部・大学院は、安全・安心な社会実現のための政策科学としての社会安全学の構築・体系化に取り組んでいる。安全・安心な社会を実現する上で、科学技術の果たす役割は極めて大きく、その発展は安全な社会に向けて社会が期待するところである。しかしながら、科学が安全の問題をすべて解決してくれるという過大な期待も慎まなければならない。安全を論じるうえで、これまでの科学技術で何が明らかになり、何が未解決なのか、解決の可能性はあるのか。本学の教員が安心・安全に関わる世界の知の最前線を講義する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに	1	開講にあたって/安全安心社会と技術	講座提供機関である関西大学社会安全学部が目指すもの、及び開設から7年間の研究成果を紹介する。併せて、安全・安心な社会を創造していく上での科学技術が果たす役割について総説する。	2017/4/13	関西大学 東京センター 会議室	永松伸吾 関西大学社会安全学部	安部 誠治	関西大学社会安全学部
工学・理学・社会学・ 経済学・社会安全学	2	群集シミュレーション～できること・できないこと～	酔客や歩きスマホによる鉄道駅ホームでの衝突・転落事故のニュースを耳にすることが多くなってきた。また、人々の過度な密集による群集事故の発生も世界的には珍しくない。群集の挙動をコンピュータで模擬し、事故予防に役立てるための群集シミュレーションについて、何ができるのか、逆に何ができないのかを紹介する。	2017/4/20			川口 寿裕	
	3	生体認証技術の現在とこれからの展開	なった。しかしながら、なりすましの問題を筆頭に解決すべき問題は多々存在している。本講義では、代表的な生体認証技術を最初に紹介しつつ、現在解決すべき課題や研究段階にある最新の生体認証技術までを紹介する。	2017/4/27			河野 和宏	
	4	地震予知の科学と防災	地震予知は多くの日本人の心を捉える防災対策だが、現状では実用レベルに達しているとは言い難い。1960年代から20年余りは地震予知楽観論が支配的であったが、その後は悲観的な見方が主流となっている。この経緯を科学・社会の両面から考察し、地震予知についての地震学の实力と、それを防災にいかすための方策について考える。	2017/5/11			林 能成	
	5	津波シミュレーションの最前線～多様な被災形態を予測する～	従来の津波シミュレーションは浸水被害を中心に行われてきた。しかし、東日本大震災では、建物倒壊や漂流物、災害瓦礫、地形変化などの多様な津波被害が発生した。そこで、事前にそれらの被災状況を予測するための新たなシミュレーションが精力的に研究されている。本講義では実際の被災形態と最先端の予測技術を紹介する。	2017/5/18			高橋 智幸	
	6	リスクの社会心理	リスクは将来発生するかもしれない不確実な危険である。不確実であるが故に、私たちは災害や事故のリスクに対して、思い込みや希望的観測にもとづいた判断をする。その心理メカニズムの詳細を解説する。また、パニック神話やエリートパニックなど社会で広く誤解されている集合現象についても事例にもとづいて解説する。	2017/5/25			土田 昭司	
	7	災害の経済分析	災害の経済的影響は年々増加しており、災害被害の経済的評価は防災対策において欠かせない要素になりつつある。一方で、災害が経済成長や発展に与える影響についても近年急速に研究が発展し、最近では災害の経済分析は経済学でも決してマイナーな分野ではなくなりつつある。それらの動向について解説する。	2017/6/1			永松 伸吾	
	8	地盤災害の予測とモデリング	地盤災害の予測において数値シミュレーション・モデリングは重要な役割を担っている。近年、コンピュータ技術の向上により解析・シミュレーションモデルはより複雑化・高度化してきている。本講義では、予測精度向上のためのさまざまな取り組みや最新の数値シミュレーション技術について紹介し、今後の展望について述べる。	2017/6/8			小山 倫史	
	9	発電プラントの安全性―技術開発の経緯と第三者検査制度の確立	火力発電の安全確保の経緯を概説し、高圧化に伴って多発したボイラ破損問題などの克服するために、第三者検査制度が導入され、大きな成果を上げてきた。その実績を踏まえて、我が国の原子力に係る諸問題について改めて考えてみたい。	2017/6/15			小澤 守	
まとめ	10	最新の防災科学技術例―自然科学と社会科学―/閉講あいさつ	最新の防災科学技術例を紹介する。1つは、東日本大震災における巨大津波発生メカニズムに迫る観測船「ちきゅう」の現地調査である。2つは、地球温暖化を解明するためにアルゴ・フロートによる海洋の3次元動態調査である。3つは、河田が25年かけて開発したnet集合知を用いた巨大災害の被害額推定に関する方法である。	2017/6/22			河田 恵昭	

2017年度前期								新規			
科目No.	関連講座UT134b	科目名	化学物質総合経営学2				副題	健康・環境リスクを巡る国際的な論議を跡づけながら化学物質管理を付加価値の創造に繋げる道を探る			
連携機関名	増田 優	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	火曜日14:10－17:15 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・放送大学文京学習センター (東京知の市場・放送大学(協賛))
科目概要(300字)	化学物質は生活や社会の隅々に浸透し、健康リスクや環境リスクに止まらず経営リスクや社会リスクをももたらす。そして化学物質のリスク管理は技術革新、制度改革、経営変革と深くかかわる分野であり、ものづくりはこうしたリスクを管理するための規範創りと不即不離の関係にある。開発・生産され社会で広く流通・使用されて排出・廃棄される全過程で化学物質がもたらすリスクを管理することを目指す化学物質総合管理学を巡る国際的な論議の系譜と基本的な枠組みを、生物や放射性化学物質などがもたらすリスクの管理とも対比しながら解説する。加えて具体的な事例を通して、化学物質総合管理のイノベーションとの関わりについて解説しながら付加価値の創造と持続可能な発展につなげるための化学物質総合経営学の視点を提起し、今後の課題を論じる。(前半が化学物質総合経営学1で後半が化学物質総合経営学2である。)参考書は、化学物質総合経営学－規制から管理そして価値創造へー(化学物質総合経営研究会/丸善出版/¥5,000/ISBN=978-4-86345-287-9-C3340)										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに	1	化学物質総合管理とは何か 社会的規範や科学的方法	科目の目指すところと講義の進め方について概説する。また、この科目の理解の基本となる社会的規範とは何か、科学的方法論とは何かについて概説しつつ、化学物質総合管理(Integrated Management of Chemicals)の概念を紹介する。	「化学物質総合経営学1」として2016年11-12月に開講した。次回は2017年10-12月に開講予定で、具体的な日程は2017年7月に決定。	放送大学 東京文京学習センター	増田 優	増田 優	お茶の水女子大学名誉教授
	2	リスク原則と安全・安心	企業、労働者、消費者など社会で頻繁に語られ、かつ、政府や大学が政策課題や研究目標とする「安全」や「安心」とは何か、内外の違いも含めて検証する。また、ハザード(有害性)とエクスポージャー(曝露)により規定されるリスク(現実の危険性)と安全や安心の係わりを論じつつ、化学物質総合管理の基本であるリスク原則について概説する。					
健康・環境リスクの総合的な管理	3	健康リスクと環境リスク	身近な具体的な事例を通して化学物質の固有の特性であるハザードと用途・用法などで多様であるエクスポージャーについて検証しつつ、化学物質がもたらす健康へのリスクや環境へのリスクの管理の在り方について社会的規範や科学的方法論とのかかわりも含めて論じる。					
	4	リスク管理とイノベーション	化学物質の健康リスクや環境リスクが社会に大きな影響をもたらした具体的な事例として公害などを取り上げ、技術革新や制度改革を通して社会を変革しつつ危機を克服していった歴史を検証しながら、化学物質のリスク管理の多様な側面と総合的なリスク管理における日本の課題を明らかにする。					
経営・社会リスクの総合的な管理	5	社会の多様なリスクの管理の水準と目標	生活や社会のあらゆる場面はリスクに満ち溢れている。化学物質がもたらすリスクを他の要因によってもたらされるリスクと対比しながら検証し、それぞれのリスクの持つ特徴と重みを明らかにしつつ、化学物質のリスク管理が目指す目標について論じる。					
	6	経営リスクと社会リスク	化学物質がもたらすリスクは健康リスクや環境リスクだけではない。時には、健康や環境への影響が生じていないにも拘わらず、膨大な負担が発生することがある。内外で起こった具体的な事例を検証しながら、化学物質のリスク管理の成否が、また、近年世界で急速に進む制度改革が、経営や社会にもたらすリスクの大きさと意味について論じる。					
化学物質総合管理の基本的枠組み	7	リスク原則と科学的枠組み	ハザード(有害性)、エクスポージャー(曝露)、リスク(現実の危険性)の意味と特徴について詳述するとともに、化学物質総合管理の基本であるリスク原則から導き出される自主管理の重要性などについて論じる。また、発癌性を例に、規範科学(レギュラトリー・サイエンス)が持つ自然科学的側面と人文社会科学的側面を検証する。					
	8	社会的枠組みと情報の共有化	リスク原則に則り化学物質を総合管理してゆくために、社会を構成する人々が広く協働していくことが必須である。このために、20世紀の第4四半期以来世界が社会変革を目指して構築してきた社会的な枠組みについて解説するとともに、その根幹をなす情報の共有と公開のための諸々の仕組みについて紹介しつつその意味を論じる。					
自主管理と価値創造	9	自主管理の概念と経営への展開	リスク原則など化学物質総合管理の諸原則から導出される自主管理の企業経営上の意義を論じつつ、化学物質を総合管理するための社会制度の中で自主管理が果たす役割を論じる。加えて、化学産業界の自主管理活動であるレスポンス・ケアを解説しつつ、その中核をなすプロダクト・スチュワードシップの概念と意味を論じる。	2017/4/18				
	10	自主管理の実績と価値創造の実際	自主管理が社会制度の変革を先導した事例や付加価値の創造をもたらした事例を紹介しながら、自主管理の経営的な意味を明らかにし、化学物質総合管理の化学物質総合経営への進化を論じる。また、具体的な研究・開発や生産・販売の過程でのものづくりと規範創りの関係を明らかにし、規範創りの主役が民間であることを示す。					
化学物質総合管理の国際展開	11	化学物質総合管理を巡る国際的な論議の系譜(1)	20世紀第4四半期から始まった経済協力開発機構(OECD)の化学物質総合管理に関する論議の系譜を、第1期の科学的方法論の確立、第2期の情報の共有化・公開と企業機密の保護、第3期のリスクの評価と管理などの順に検証し、その意義を論じる。また、化学物質総合管理(Integrated Management of Chemicals)の概念の確立の過程を紹介する。	2017/4/25				
	12	化学物質総合管理を巡る国際的な論議の系譜(2)	1992年の国連環境開発会議アジェンダ21第19章から発し、2002年の持続可能な発展に関する世界首脳会議の宣言や2006年の国際化学物質管理戦略を経て今日に至る国際論議の意義を論じる。また、今日世界に定着しているデータの相互受け入れ(MAD)に続く評価・届出の相互受け入れ(MAA・MANs)の重大性を論じる。					
	13	欧米各国やアジア諸国の動向と国際競争力	国際的課題である2020年目標の達成のため、世界各国は科学的基盤、法律・制度的基盤、人材・組織的基盤を強化し化学物質総合管理能力の向上に邁進している。とりわけ、欧州の新しい化学物質総合管理法であるREACHの制定以来、アジア諸国をはじめ各国で急激に進展している化学物質総合管理法制の整備の状況とその意味を論じる。	2017/5/9				
日本の現状と課題	14	化学物質総合管理能力の実相と国際競争力	日本の政府、企業、大学などの各セクターの化学物質総合管理能力の現状を検証しつつ、化学物質の総合管理が総合経営に進化する状況における課題について論じる。また、近年頻発する健康被害、輸入品の増大と国際競争力の減衰などの具体的な事例を検証しながらその誘因としてのリスク管理に係る日本国内の制度について論考する。	2017/5/16				
	15	法律体系や行政体制の特徴と今後の課題	リスク管理の向上と雇用の維持、また国際競争力に大きな影響を与えるMAA・MANs制度への参加のためにも、国際的潮流である化学物質総合管理に整合する法律体系と行政体制の構築が必須であることを解説しつつ、日本の化学物質管理に関する法律群や関係省庁の現状と特徴を明らかにし克服すべき課題について論じる。					
まとめ	16	総合討論	化学物質の総合管理は、健康リスクと環境リスクののみならず経営リスクや雇用リスクさらには国際競争力に影響を与える。化学物質の総合管理が総合経営に進化している状況を踏まえつつ、世界が目指す2020年目標の達成に向けた日本の課題とその解決のための道筋を、科学的側面、法律・制度的側面、人材・組織的側面から多角的に論ずる。					

2017年度前期										新規	
科目No.	関連講座UT576b	科目名	規範科学2				副題	文理融合の視点をもつ規範科学(レギュラトリー・サイエンス)を健康や環境へのリスクの評価と管理を例題に論じる			
連携機関名	増田 優	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	水曜日14:10-17:15 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・放送大学文京学習センター (東京知の市場・放送大学(協賛))
科目概要(300字)	好奇心や欲望に突き動かされる形で20世紀の初頭から科学研究や技術開発に多くの資源が投入されるようになって始まった知の爆発が、時とともに加速化の中で20世紀の第4四半期になり、知の暴走を制御し知の創造とともに知の伝搬を促して知の普遍化を進め、膨大に集積した知をより幅広い世界で社会変革のために活用する必要性が叫ばれるに至った。それまでの好奇心や欲望に動かされる科学研究や技術開発に対して社会のための科学(Science for Society)、政策のための科学(Science for Policy)が提唱された。規範科学(Regulatory Science)はこうした潮流の中に位置づけられ、科学的方法論と知的説得を重視することによりリスクの顕在化を未然に防止することを目指す。規範科学の文理融合的な特徴を踏まえながら、その意味と意義を論ずる。(前半が規範科学1で後半が規範科学2である。参考書は、化学物質総合経営学―規制から管理そして価値創造へ―(化学物質総合経営研究会/丸善出版/¥5,000/ISBN=978-4-86345-287-9-C3340)										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに	1	社会的規範と科学的方法論	科目の目指すところと講義の進め方について概説するとともに、この科目の理解の基本となる規範とは何か、科学的方法論とは何かを紹介しつつ、規範科学とはなんであるかを論じ、かつ、その意味と意義について問題提起する。	「規範科学1」 として2016年 11-12月に開 講した。	放送大学 東京文京学習 センター	増田 優	増田 優	お茶の水女子大学名誉教 授
	2	身近なところからみる 社会的規範と科学的方法論	馬鈴薯など身近な製品の歴史と現状を紹介しながら、生活を取り巻くリスクを適正に管理するために設けられている社会的規範やその背後にある科学的方法論について概観する。					
社会の多様性と 社会的規範の多様性	3	自然環境の多様性と社会 の多様性	世界は多様な自然環境に満ち溢れ、その中で人々の生活も多彩であり、自ずと社会は多様性に富み価値観は千差万別で多岐にわたることを、サウジアラビアなどの事例を紹介しながら論じる。					
	4	資源と人間と技術をめぐる 多様な価値観	天然資源に着目する日本と人材や技術に着目するサウジアラビアの「資源」に対する認識の違いなど紹介しながら、各国における義務教育や人材育成に対する試みに見る価値観の多様性を、日本の歴史や現状と比較しながら論じる。					
	5	価値観の多様性と社会的 規範の多様性	世界には多様な価値観が存在していることをアラブ・イスラム諸国や欧米諸国の例を挙げながら紹介しつつ、その価値観を体現するそれぞれの社会における社会的規範が多彩であることを論じる。					
多様性の中における 規範の意味と効果	6	日米紛争における 社会的規範の意味と効果	第二次世界大戦後に日本とアメリカとの間で起きた繊維、鉄鋼、半導体、自動車などに関する貿易紛争とその結末としての自主管理の意味について検証しつつ、写真フィルム、自動車タイヤ、アジ化ナトリウム、エポキシ樹脂などに関する日米の紛争が自主規制とは異なる経過で解決に至った意義を、条約や法令そしてビジネス慣行などの社会的規範や国際的規範の視点から論じる。					
	7							
付加価値の創造と 社会的規範	8	技術革新と世界標準	条約や協定といった世界的規範以外に、技術革新に大きな影響をもたらす規範として世界標準などが存在する。世界標準の持つ意味と効果を抗菌防臭加工や生分解性プラスチック、液晶テレビなどの具体例をもとに検証するとともに、世界標準の確立に必須の評価技術について論じる。	2017/4/19				
	9	ものづくりと規範創り	人々の生活を支えるためには付加価値の創造が不可欠である。その価値創りにおいてもものづくりと規範創りが深く係り両者が車の両輪として必須であることをロボットなどの事例を基に解説する。合わせて、ものづくりのみならず規範創りにおいても主体者は政府ではなく民間であることを論じる。					
社会的規範と 科学的方法論	10	法令の策定・運用の実態と 科学的方法論	法律や政省令の制定において科学的知見と論理思考が持つ意味を検証しつつ、化学物質審査規制法や食品衛生法などを例に具体的な法令の制定や運用の科学的な方法論の視点から検証しつつ、科学的方法論に基づかない法令や制度がもたらす社会的影響を紹介し、日本の課題を明らかにする。	2017/4/26				
	11	石油使用優先順位の実際 に見る日本の課題	東日本大震災や福島原子力発電所事故を視野に入れながら1973年の第一次石油危機に制定された石油需給適正化法に基づく石油使用の優先順位の策定の実際を検証しつつ、法令の制定や運用における日本の欠陥を論じる。	2017/5/10				
科学的方法論による 戦略思考と 未然防止を目指す社 会的規範	12	科学的方法論の特徴と意 味	追試可能性や公開性などの科学的方法論が持つ特徴を示しながら、社会的規範の策定において科学的方法論や知的説得が持つ意味と意義を、未然防止の視点やリスクコミュニケーションの視点も踏まえつつ論じる。また、科学的方法論に基づかない法令や制度の脆弱性や非有効性などについて、具体的な事例について検証する。	2017/5/17				
	13	規範科学と未然防止	好奇心や欲望に動かされる科学研究や技術開発に対して20世紀の第4四半期になり、社会の課題の解決に積極的に役割を果たす社会のための科学、政策のための科学が提唱された。その文脈にある規範科学が、科学的方法論と知的説得を重視することによりリスクの顕在化を未然に防止するための諸制度を構築してきた事例を紹介し、その意味と意義を論じる。					
	14		科学的知見が示され、かつ、国際的に警鐘が鳴らされていたにもかかわらず毎年1000人を超える死亡者を出しているアスベストを巡る事例などを検証しつつ、国際的に懸念されている新しいインフルエンザの流行に対する対応について、規範科学の視点から日本の課題について論じる。					
まとめ	15	社会的規範の不備と国際 競争力の喪失	20世紀最大の発明の一つに数えられる組換えDNA技術が1973年に発明された後、社会の諸々の分野へ実践的に展開されていく過程で重要な役割を果たした諸規範の成立の経緯とそこで科学的方法論や知的説得が果たした役割を検証しつつ、ナノ材料分野の動向なども視野に入れながら社会的規範の制定の遅れが国際競争力や雇用に及ぼす影響を論じる。	2017/5/17				
	16	総合討論 生活安全保障と社会的規 範	化学物質、放射線、病原生物などのもたらすリスクや地震、津波、台風などがもたらすリスクとともに飢餓や失業などがもたらすリスクや貿易紛争といった国家間の緊張がもたらすリスクなど幅広い視点から生活の安全保障をとらえながら、その維持向上のために社会的規範が果たす役割と技術革新、制度改革、人材改新、社会変革との係わりについて討論する。					

科目No.	共催講座PT211d	科目名	感染症総合管理1d				副題	感染症対策-ワクチンを中心にー			
連携機関名	国立感染症研究所	水準	中級	教室定員	35	配信定員	0	講義日時	火曜日18:30～20:30	拠点 (開講機関)	東京・戸山 (国立感染症研究所)
科目概要(300字)	感染症との闘いの為のヒトの生体防御の働き、および感染を予防する為のワクチンの効能、またワクチンの安全がどのように確保されているのかを説明する。又、その中で感染症研究の専門機関、特に国立感染症研究所が果たしている機能についても解説する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
総論	1	感染と宿主免疫	感染(宿主ー病原体関係)における宿主免疫応答とその医療応用に関して、病原体に遭遇した場合のヒトの免疫応答の基礎知識やワクチン等免疫介入治療・予防に関する応用面を概説する。	2017/9/5	国立感染症研究所 戸山庁舎 会議室	阿戸 学	阿戸 学	国立感染症研究所 免疫部部長
	2	次世代ワクチンの開発	ワクチンが何故効くのかその原理と投与方法の総論と次世代ワクチンの候補として粘膜投与型ワクチン、DNAワクチン等の作用メカニズムと効果、開発状況について紹介する。	2017/9/12			長谷川 秀樹	国立感染症研究所 感染病理部部長
	3	生物製剤の品質管理	ワクチンは健康な人を対象に予防目的で接種されるものである。であるがゆえに、有効性のみならず、安全性には特に注意しなければならない。一方、ワクチンは生き物を使って製造、試験しなければならないという特殊性についても紹介する。	2017/9/19			加藤 篤	国立感染症研究所 品質保証・管理部長
	4	感染症の予防とワクチン接種	ワクチンで予防可能疾患の国内及び国外の発生状況、我が国の現行ワクチン接種スケジュール、副反応等を概説し、感染症を予防する時のワクチンの重要性を解説する。	2017/9/26			多屋 馨子	国立感染症研究所 感染症疫学センター室長
	5	薬剤耐性と院内感染	今日、日本の医療現場では院内感染の事例が報告され、大きな社会問題となっている。院内感染の原因となる微生物や院内感染の防止対策について概説する。	2017/10/3			柴山 恵吾	国立感染症研究所 細菌第二部部長
各論	6	インフルエンザワクチン	通常の季節性インフルエンザとパンデミック・インフルエンザに対するワクチンに求められる特性には違いがある。現在我が国および海外で認可されているワクチンと両ワクチンとの関係およびワクチン株選定の過程について紹介する。	2017/10/10			板村 繁之	国立感染症研究所 インフルエンザウイルス 研究センター室長
	7	血液・体液を介して感染する 肝炎ウイルス	血液・体液を介して感染する肝炎ウイルスとしてB型、C型肝炎ウイルスが知られており、慢性肝炎から肝硬変、肝臓の癌の原因となるため大きな問題となっている。これらのウイルスの感染リスクと治療、ワクチンについて概説する。	2017/10/17			加藤 孝宣	国立感染症研究所 ウイルス第二部室長
	8	DPTワクチン	DPT疾患(ジフテリア・破傷風・百日ぜき)の国内および国外の現状とそれら疾患を予防する為に果たしてきたDPTワクチンの役割について概説する。	2017/10/24			蒲地 一成	国立感染症研究所 細菌第二部室長
	9	経口感染する肝炎ウイルス	経口感染する肝炎ウイルスとしてA型、E型肝炎ウイルスが知られており、発展途上国では現在も蔓延しているが、先進国でも時に流行が見られる。また、E型肝炎ウイルスはブタなどにも感染しており、生食等による感染の危険性もある。これらのウイルスの感染リスクと治療、ワクチンについて概説する。	2017/10/31			石井 孝司	国立感染症研究所 ウイルス第二部室長
	10	麻疹排除と麻疹ワクチン	麻疹の日本、並びに世界の現状、原因となるウイルスの性状、並びに麻疹ワクチンの開発の歴史、効果等を概説する。また、WHOが進める麻疹排除計画についても説明する。	2017/11/7			駒瀬 勝啓	国立感染症研究所 ウイルス第三部室長
	11	肺炎球菌感染症と肺炎球菌 ワクチン	肺炎球菌は、小児や高齢者に菌血症・髄膜炎などの侵襲性感染症や肺炎、中耳炎等をおこす。肺炎球菌ワクチンには小児用、成人用ワクチンがあるが、これらの特徴や臨床効果について概説する。	2017/11/14			金城 雄樹	国立感染症研究所 真菌部室長
	12	結核	結核とはどういう病気か、起因菌の結核菌の特徴およびBCG接種をはじめとする現在講じられている結核対策を含めて概説する。また、結核菌と近縁な菌によるハンセン病についても触れる。	2017/11/21			田村 敏生	国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 室長
	13	水痘等のヘルペスワクチン	水痘・サイトメガロウイルスなどのヘルペス科ウイルスによる各種感染症および我が国で開発された水痘ワクチンの現状とその効用について紹介する。	2017/11/28			西條 政幸	国立感染症研究所 ウイルス第一部部長
	14	世界ポリオ根絶計画とポリ オワクチン	WHOを中心にポリオ根絶計画が進められているが、その現状と問題点について、世界的な視点および日本の立場に基づいて解説する。とくに、ポリオ根絶最終段階における、ポリオワクチン戦略にかかわる諸課題について説明する。	2017/12/5			清水 博之	国立感染症研究所 ウイルス第二部室長
	15	ヒトパピローマウイルス	ヒトパピローマウイルス(HPV)は、性行為を介して感染し、子宮頸がんの原因となるウイルスである。近年、欧米にてHPVに対する感染予防ワクチンが開発され、我が国を含む全世界で導入されている現状を紹介する。	2017/12/12			柊元 巖	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究セ ンター室長

科目No.	共催講座 YB612b	科目名	狭山を学ぶ ものづくり編b				副題	グローバルブランドを目指す狭山茶の全てを学ぶ			
連携機関名	狭山商工会議所 狭山市	水準	中級	教室定員	40名	配信定員	0名	講義日時	火曜日18:30～20:30 実習(講義2・3・8・9)は土曜日 13:30～16:30	拠点 (開講機関)	埼玉・狭山 (狭山商工会議所・狭山市)
科目概要(300字)	狭山市は有名なブランドである「狭山茶」の産地である。狭山茶は狭山丘陵で栽培・生産されるお茶の総称で、江戸時代にはすでに江戸でブランド化されており、当時狭山はお茶の生産地域の北限でもあった。狭山市が市政を引くはるか昔から「狭山」という名前を使い、ブランド化してきた狭山茶の魅力を、その歴史と効能から説き起こす。そして、いま生産者を中心に取り組まれている課題や将来への「夢」を示し、現在の狭山茶の姿を明らかにする。これによって、より多くの人々が「狭山茶」を再認識し、今後の狭山茶のブランド力強化につながる。昔は「薬」であった「お茶」を深く良く認識する機会を提供する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
開講式	1	開講式・狭山とお茶	開講式。古来お茶は中国から伝えられ、江戸時代は関東圏がその栽培の北限とされてきた。狭山市はその地域に位置し、古くからお茶の栽培が盛んで、「市」としての名称も昭和29年に市制を引いた時に「狭山市」とした。「狭山茶」を歴史的にとらえ、また、現在の産業として、さらに未来に向けての取り組みを本コースで学んでいく。	2017/9/26	狭山市産業労働センター 1階多目的スペース	狭山市産業労働センター 栗原博文 神部圭子	(未定)	狭山市
体験・狭山茶生産1	2	狭山茶はこうして作られる 1	茶業者の持つ1次産業としての「茶畑」、そこからの収穫後に、いろいろな加工を施す(2次産業)ことにより、お茶の付加価値を上げ、また、性格を変えてゆく。それら一連の流れを学ぶとともに、お茶の製造現場の取組を見学し、生産体験を行う。特に前半の体験は、生産現場である茶畑を視察・考察し、さらに、受講者が自ら茶葉の収穫を体験し、お茶の産業の第1次部分を体験する。	2017/9/30	実習 会場:横田園		横田泰宏	東阜横田園代表
	3	狭山茶はこうして作られる 2					横田貴弘	東阜横田園
狭山茶の歴史と効能	4	狭山茶の歴史 1	中国から伝来したといわれる茶が、中世から近世にかけてどのように日本国内に広まっていったのかを振り返りながら、江戸時代後期に誕生した狭山茶について学ぶ。	2017/10/3	狭山市産業労働センター 1階多目的スペース		高橋光昭	前狭山市博物館館長
	5	狭山茶の歴史 2	開国とともに急速に発達した狭山茶の生産について触れるとともに、紅茶やコーヒーの登場で国内消費に移行していった経過、機械化への取り組み、霜害に強い品種の登場などについて学ぶ。	2017/10/10			長谷川秀夫	NPO法人分析産業人ネット 委員
	6	お茶から始まる和食の文化と健康づくり	日本の伝統的な食文化、和食は、世界の無形遺産として登録されるなど再認識されてきた。食文化のルーツを知り、科学的見地から食品の機能(人体に対する食品の作用や働き、栄養機能、健康性・生体調整機能、嗜好・食感機能)の内、お茶から始まる和食の色彩・香り・食感を中心に和食の素晴らしさと、お茶の存在意義を検証し健康づくりに活用する。	2017/10/17				
	7	お茶の効能と文化	「お茶」の食品としての効能や効果、そしてお茶を中心とする文化的活動などを講義する。	2017/10/24			大森正司	大妻女子大学 教授
体験・狭山茶生産2	8	狭山茶はこうして作られる 3	農産物であり生き物である「お茶」の知識を本コースで学んできた。それらを踏まえ実践としてお茶の生産を体験し、さらに、生き物である「お茶」のポテンシャルを発揮させ、美味しいお茶を楽しむためのルールを学び実践する。この後半の体験は、収穫後の茶葉をいかに加工するか、長い歴史の中で培われてきた加工の仕方により、茶葉の性格を変え付加価値をいかに付けるかを体験する。さらに、つくられたお茶の選び方や、より良い楽しみ方を体験する。	2017/10/28	実習 会場:横田園		横田泰宏	東阜横田園代表
	9	狭山茶をさらにおいしく楽しむために					横田貴弘	東阜横田園
現在の狭山茶生産とその課題	10	狭山地域から世界へ	狭山丘陵で生産される「お茶」＝「狭山茶」を生産販売する事業者として取り組む「狭山茶」作りと、アメリカ市場を見た生産者として感じた「世界の中での狭山茶」の可能性を語る。	2017/10/31	狭山市産業労働センター 1階多目的スペース		平岡忠仁	平岡園
	11	良い素材をよい製品に	お茶は第1次産業から第3次産業まで一貫した流れを持つが、製品としてのポテンシャルを決めるのは第1次の素材としての生産段階と、第2次の加工卸の段階の要素が大きい。農産物としての「茶葉」を加工することにより、その特色を発揮し、異なる「お茶」に仕上げていくうえでの技術・工夫や日々の課題を語る。	2017/11/7			石田英希	石田園
	12	良い製品の拡大とブランド構築	同一地域で長い間積み重ねられた技術と工夫で生産され、加工され、製品となった「狭山茶」。長い歴史の中でブランド性を高めるとともにいかに良い商品として地域の人たちや愛好家に流通し、愛飲していただくか。また、さらなる消費拡大のためにいかなる工夫や新商品の開発に取り組むか。主に流通面からの「狭山茶」を語る。	2017/11/14			植竹利光	清風園
未来に向けての狭山茶	13	狭山茶と市民のおもてなしの取組	古くからのブランドである「狭山茶」、そして、茶の湯の文化の1つである「おもてなし」、近年の加速度的な国際化と、世界から興味を持たれている日本文化を踏まえながら、狭山市の魅力とおもてなしについて、狭山茶を基軸として創造し、発信していくことを目的に活動している市民団体として、「狭山茶のおもてなし」について皆さんと一緒に考えていくものです。	2017/11/21			中津川人峰	狭山おもてなし計画代表
	14	狭山茶と狭山のブランディング	日本のブランドとしての「日本茶」、世界の中で日本文化の一つである「日本茶」をどのように展開していくべきなのか。狭山市の若手経営者たちが挑むブランディングプロジェクトを紹介する。	2017/11/28			吉田徹弥	狭山商工会議所青年部 副会長
まとめ	15	まとめ・未来に向けて	本コースでは地域ブランドである「狭山茶」をいろいろな角度から、多くの人・視点で講義を積み重ねてきたが、このコースを総括して、今後の狭山茶の未来を示唆し、お茶の製品としての可能性や、文化としての可能性を模索する。	2017/12/5		横田泰宏	東阜横田園代表	

科目No.	共催講座JK454	科目名	環境基礎論				副題	市民の環境問題入門			
連携機関名	日本リスクマネジャネットワーク	レベル	基礎	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	火曜日18:15~20:15	拠点 (開講機関)	大阪・千里山 (日本リスクマネジャネットワーク) 後援:関西大学化学生命工学部
科目概要(300字)	21世紀は環境の世紀といわれている。それは変わらないと思われてきた地球環境が大きく変化し、危機的ともいえる局面を迎え、人間と環境との係わりを根本から考え直す必要があるというメッセージである。人間は誕生以来、自然に働きかけ、生活に必要なものを手に入れてきた。産業革命以降、科学・技術の急速な発展により、生活は便利で快適になったが、他方で自然破壊や環境汚染が進み、人間を脅かすようになってきた。その象徴が地球温暖化問題である。これから環境問題について学ぼうとする市民や勤労者に、生活の土台となる地球、水、大気、土壌について、また生活を豊かにしてきた化学物質などについて、最新のトピックや身近な関心事も交え、広く環境問題について講義し、共に考える。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)				講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
地球と環境	1	環境問題の歴史	環境問題を考える糸口として、時代の変遷を振り返りながら環境問題の全容を俯瞰し、講義全体を概観する。				2017/9/26	関西大学 千里山キャンパス 第4学舎 3号館 3202教室	宮崎 隆介	石橋 博	日本リスクマネジャネットワーク
	2	宇宙船地球号(1)	環境問題を考える上で基礎になる地球について知るために大気圏、水圏のしくみを解説する。				2017/10/3			宮崎 隆介	
	3	宇宙船地球号(2)	環境問題を考える上で基礎になる地球のしくみのうち、陸圏のしくみについて解説する。また、「生物多様性」とは何か、その重要性和現状を森と木の役割や林野庁の進める「木づかい運動」、「美しい森づくり国民運動」の紹介を通じて解説する。				2017/10/10			宇都 英二	
公害と環境	4	水質汚濁問題	水質汚染の歴史は産業革命にまで遡る。産業の発展と共に川や海が汚れ、人の生活に悪影響を与えてきた。水質汚濁対策の進展で現在では相当改善されてきたがまだ完全ではなく、新しい問題も起きている。水質汚濁問題を日本の状況を中心に、上水道への影響や下水道整備の話を交えて解説する。				2017/10/17			刑部 忠彦	
	5	土壌汚染問題	前半の基礎編では、「土壌汚染対策法」の目的を理解し、その施行状況を概観する。又、「用地及び組織の環境アセスメント:ISO14015」を用いて、事業への影響を決定するプロセスを解説する。次に後半の実践編では、複雑な土壌汚染問題のリスクマネジメントの実践から、その考え方を事例を交えて解説する。				2017/10/24			久保田 俊美 新田 恭司	
	6	大気汚染問題	4大公害裁判の一つ「四日市ぜんそく」から道路環境裁判までの概略と企業・行政の取り組みを述べ、大気汚染の歴史を振り返る。次に環境基準が未達成の「光化学オキシダント」の現状と要因の一つである「越境汚染への取り組み」を紹介する。最近話題の微小粒子状物質(PM2.5)や地球規模の大気汚染への取組みも紹介する。				2017/10/31			西村 庄司	
	7	廃棄物処理問題	産業廃棄物と一般廃棄物、不法廃棄、焼却場、廃棄物処理場、ダイオキシン問題、住民運動、海外との関係など廃棄物処理問題の全般について行政の対応を踏まえながら歴史と現況について解説する。				2017/11/7			佐古 勇策	
地球温暖化	8	地球温暖化(1)	地球温暖化のもたらす脅威は世界的な共通認識となり、その対策をめぐる国際的な交渉が続けられてきた。2015年12月にパリで新しい枠組みが決められ、日本政府も原発再稼働を前提に削減目標を提出した。これらの交渉の共通認識をもたらししたIPCCの報告(第5次評価報告書ーAR5)について概説する。				2017/11/14			石橋 博	
	9	地球温暖化(2)	京都議定書を引き継ぐ新しいCO2削減の枠組みが交渉されている。国別の削減量が交渉の焦点になっているが、削減の仕組みについてはすでに京都メカニズム等考えだされており、2015/パリ協定を受けて協議も続けられる。私たち市民一人一人の取り組みについてもアイデアはある。地球温暖化の現実が待ったなしの状況を迎えている中、地球市民として				2017/11/21			池田博幸	
化学物質と食	10	化学物質のリスク管理	化審法、PRTR制度、REACHなどの社会的な管理の仕組みを解説し、会員の仕事を通して化学物質の環境リスク管理について論じる。				2017/11/28			奥村 勝	
	11	食の安全・安心	食にまつわるリスクとは、生活に最も身近な環境リスクであり、生命に直結する問題でもある。農作物の栽培や家畜の飼育、或いは加工品の製造・開発の段階に始まり、輸送、防疫、保管、購入、更には調理及び摂取の過程に至るまで、極めて広範囲かつ多面的に発生するリスクについて概説し、対処の仕方についても紹介する。				2017/12/5			宮崎隆介	
社会の動き	12	最新の環境技術・環境ビジネスの紹介	豊かな生活を求めて発生させてきた環境問題をクリアするため、環境ビジネスは有望なビジネスとして期待されている。しかし、東日本大震災に続く原発事故は、安全神話と地球温暖化解決の切り札を御旗に原子力発電へ依存を高めてきた日本の環境政策をぐらつかせている。環境技術の果たすべき役割について一緒に考える。				2017/12/12			(未定)	
	13	環境法の動き	各講義で出てくる個別法の話をもとめる観点から、主要な環境法の歴史と概要を紹介する。また、日本の法律の歴史的変化と最新の体系、主な国際法規や海外法規の動向についても紹介する。				2017/12/19			砂川 辰彦	
	14	企業の社会的責任(CSR)	市民の側から企業社会との付き合いを考える視点から企業の社会的責任(CSR)について世界の歴史的背景に触れながら、CS・環境会計・ISO認証取得、CSR報告書など企業の社会的責任(CSR)の現状について解説する。				2018/1/9			古沢 啓一	
まとめ	15	持続可能な社会(循環型社会／低炭素社会)を目指して	持続可能な社会を実現するためには現実の困難な課題が多くある。講義全体のまとめとして、社会で問題になっている話題を取り上げ、立場の違いをどう乗り越えればいいのか、受講者、講師一緒に考える。				2018/1/16			宇都 英二	

科目No.	共催講座JK131b	科目名	防疫薬総合管理				副題	身近な生活・環境害虫防除ー世界をリードする防疫薬と害虫防除技術ー			
連携機関名	日本環境動物昆虫学会	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	月曜日18:15～20:15	拠点 (開講機関)	大阪・千里山 (日本リスクマネジャネットワーク) 後援: 関西大学化学生命工学部、日本家庭用殺虫剤工業会
科目概要(300字)	熱帯病による死者は、近年でも全世界で年間500万人に達している。その最大の原因はマラリアで、その他にウエストナイル熱、日本脳炎、黄熱病、デング熱などがあり、いずれも蚊媒介性疾病である。マラリアによる死者は今でも毎年60万～100万人と報告されている。対策としては、おもに殺虫剤を家屋内に残留処理することやピレスロイド殺虫剤を含有させた蚊帳などの使用でベクターである蚊を防除することである。また、近年の人々の移動のグローバル化で、ある地域の熱帯病であったのが、容易に他国に伝播する事態も増えている。一方、都市化が進み、風土病、熱帯病が減少した先進地域では人々の快適な生活を維持するために、不快害虫などを防除することが不可欠になっている。これらの防除にはピレスロイドなどの安全な殺虫剤が使用されており、これらの薬剤開発では日本が常に世界をリードしてきた。このような防疫薬・家庭用殺虫剤などについて、社会的役割、薬剤開発、使用技術の改良、安全性の確保および技術革新などについて解説する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
昆虫と人間生活	1	歴史を変えた昆虫たち	昆虫が地球上に現れたのは、約4億年前であり、ヒト(猿人)が誕生したのは、約500万年前といわれる。ヒトは誕生した時から必然的に昆虫類と関わりながら生きてきた。ここでは、昆虫類が歴史上偉大な人物や大きな事件に影響を与えた事例について述べ、昆虫と人間がこれまでにどのように関わってきたかを解説する。	2017/9/11	関西大学 千里山キャンパス 第4学舎 3号館 3202教室	安部 八洲男	安部 八洲男	大阪青山大学 健康科学部
害虫の生態と防除	2	衛生害虫の生態とその防除策	虫が媒介する感染症はいろいろある。日本で最も有名なのは蚊が媒介する日本脳炎であるが、海外旅行すると虫が媒介する感染症にかかるリスクが増大する。近年周辺諸国で流行が見られる虫が媒介する主な感染症を紹介する。	2017/9/25			平野雅親	(元)住友化学
	3	不快害虫、その他の害虫の生態とその防除	人が生活している環境には衛生害虫以外にもいろいろな害虫がいる。気持ち悪い、臭い、刺されると痛いなどの不快害虫。衣服を食害する衣料害虫など。それから、最近、外国から侵入して来た外来害虫。これらの虫の被害とその対策について紹介する。	2017/10/2				
	4	害虫の生態を利用した駆除	食品衛生害虫の代表としては、飲食店の厨房や一般家庭の台所に出没するゴキブリが挙げられる。また、家屋害虫の代表としては、家屋・建造物などの木質部を食害するシロアリが挙げられる。これらの害虫を中心として、害虫の生態、習性を利用した防除法の考え方や実例を紹介する。	2017/10/16			田中 豊一	ダスキン
家庭用殺虫剤	5	家庭用殺虫剤の製剤の特徴と使い方	近年、WHOは感染症媒介害虫の防除にPrimary Health Care (PHC) の重要性を再認識し、推進している。このPHCの中心にある家庭用殺虫剤について、製剤・製品の変遷、並びにそれらの特徴と正しい使い方について概要を述べる。	2017/10/23			(未定)	日本家庭用殺虫剤工業会
	6	家庭用殺虫剤の開発とその背景	過去に市場に上市された商品について、①時代背景、②開発の経緯、③開発の課題、について幾つかの事例を基に概要を解説し、家庭用殺虫剤の変遷を紹介する。	2017/10/30			引土知幸	大日本除虫菊 中央研究所
殺虫剤の化学	7	防疫薬発展の歴史とその役割	農業(殺虫剤)使用の歴史を概説し、過去における殺虫剤の問題点およびそれを踏まえた殺虫剤(防疫薬)の発展の歴史とその役割について説明する。農業の発明・開発・上市の流れについても解説する。	2017/11/6			森 達哉	住友化学 健康・農業関連事業研究所
	8	世界をリードしたピレスロイド殺虫剤	除虫剤に含まれる殺虫成分(ピレトリン)の安全性を維持しながら構造を改変したピレスロイドは、人やベクター(疾病媒介昆虫)コントロールに無くてはならない存在となっている。人類にとってかけがえのないピレスロイドの発明の経緯について化学構造の変換および効力の特徴の観点から説明する。またどのように発明がなされたのかについても解説する。	2017/11/13				
製剤とその利用技術	9	製剤化の意義と家庭用殺虫製剤の特徴と使用方法	家庭・防疫薬分野においては、新しい特徴を有する有効成分の発見に伴い、その効能を最大限に発揮するために、今まで各種製剤が提案されてきている。主として殺虫剤における製剤化の意義と、代表的な家庭用殺虫製剤に関する基本技術について解説する。	2017/11/20			竹林 禎浩	住友化学 ベクターコントロール部
	10	その他の製剤と新規製剤の特徴と使用方法	家庭・防疫薬分野においては、新しい特徴を有する有効成分の発見に伴い、その効能を最大限に発揮するために、今まで各種製剤が提案されてきている。主として殺虫剤における製剤化の意義と、代表的な家庭用殺虫製剤に関する基本技術について解説する。	2017/11/27				
ベクター防除技術	11	世界をリードするオリセツネット(防虫蚊帳)	マラリアは、アフリカにおいて貧困の大きな原因となっている。1998年にWHOが中心となり、2010年までにマラリアの脅威を半減することを目的としたロールバックマラリアキャンペーンが開始された。そこで、感染予防の有力な手段として使用されているオリセツネットの開発の経緯、マラリアコントロールの現状、今後の展望等について解説する。	2017/12/4			庄野 美德	住友化学 生活環境事業部
木材害虫	12	木材害虫防除	主として木造建造物の主要害虫であるシロアリや、近年被害が増加しているヒラタキクイムシ類について、その生態や被害等状況を紹介する。更に、その防除方法についても解説する。	2017/12/11			藤本いずみ	京都大学 生存圏研究所
害虫防除の実際	13	薬剤による害虫防除の課題とPCO(害虫防除専門家)の取り組み	PCO(Pest control operator,害虫防除専門家)がどのような場面で害虫防除に薬剤による防除を選択し、どのような課題を抱えているのかについて、30年間害虫防除に携わってきた経験をもとに述べる。また、今後どのような薬剤が望まれるのかについてもPCOの立場からのべる。	2017/12/18			池尻 幸雄	イカリ消毒株式会社 技術研究所
安全性	14	防疫薬の登録と安全性	防疫薬の登録について述べる。日本(薬事法、化審法、毒劇法など)をはじめ、米国EPA(FIFRA)やEU(EUBPD)、その他世界各国の防疫薬登録制度について説明する。また、防疫薬を使用する消費者の安全性を担保するために必要なデータと意義、消費者リスクの評価法について解説する。	2017/12/25			尾崎 圭介	住友化学 生活環境事業部
総合防除	15	問題点と今後の方向	人々の生活の都市化や、住宅構造、生活様式などの外部環境の変化や、化学物質の安全性に対する意識の増加などから、防疫薬に対するニーズも変化し、それに対応して防疫薬も変革が必要とされる。ここでは、防疫薬が抱えている今日的課題点と今後の方向について考え、総合防除(IPM)の考え方についても述べる。	2018/1/15			安部 八洲男	大阪青山大学 健康科学部

科目No.	共催講座CT574a	科目名	法学入門a				副題	実践的考察を通じたリーガルマインドの涵養			
連携機関名	お茶の水女子大学 ライフワールドウオッチセンター	水準	基礎	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	水曜日18:30～20:30	拠点 (開講機関)	東京・お茶の水女子大学 (お茶の水女子大学ライフワールドウオッチセンター)
科目概要(300字)	現代人にとって法律の基礎的素養は不可欠である。本講座は、法学の学習経験のない社会人・学生を原則として想定する。法律の学習に際しては、具体的な状況を想定しつつ、そのなかで基本的な法理を理解するよう試みることが望ましい。本講座では、個人の生活の各場面での法律関係をとりあげながら、そのなかで基本的な法律(民法、会社法など)の考え方を学ぶという方法を試みる。条文を参照しながら説明するので、受講に際しては六法(小型のもの。最新版でなくてもよい)を携行のこと。なお、講義の順序・内容の一部を変更することがある。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに	1	法・法律とは何か	法と法律の概念、社会における規範のなかでの法律の役割、各種の法律の体系、裁判の役割、民事訴訟の仕組みなどについて考察する。	2017/10/4	お茶の水女子大学 共通講義棟 1号館101番 教室	栗原 脩	栗原 脩	弁護士（元日本興業銀行取締役証券部長）
民法	2	民法の概略、物(動産・不動産)	民法の体系、物権と債権の基礎概念、所有と占有などについて説明する。	2017/10/11				
	3	売買	売買の法理、売買契約の基礎、売買と交換などについて説明する。	2017/10/18				
	4	賃貸借・使用貸借	賃貸借と使用貸借の概念、賃貸借契約の基礎、賃貸借を巡る法律問題などについて説明する。	2017/10/25				
	5	借入れと担保	お金の貸し借り(金銭消費貸借契約、利息制限法など)、担保の役割(人的担保、物的担保)、代表的な担保権(質権と抵当権)、譲渡担保などについて説明する。	2017/11/1				
	6	請負・委任・寄託	請負の法理と実際(住宅の建築の例など)、委任の役割と当事者の義務、寄託の法理などについて説明する。	2017/11/8				
	7	契約の法理	各種契約の例を参照しつつ、民法総則の関連部分(意思表示、代理、時効など)、契約に関する法理(契約の成立プロセス、契約の履行、債務不履行、解除など)を考察する。	2017/11/15				
	8	契約の法理(続)、不当利得、不法行為	契約に関する法理の説明に続き、不当利得とは何か、不法行為と損害賠償責任などについて説明する。	2017/11/22				
会社法	9	株式会社の基礎概念	共同で事業を行う場合の組織形態、株式会社の基本原理とその特徴、株式会社の設立(手続、法人格の取得)などについて考察する。	2017/11/29				
	10	株式	株式の基本的な仕組みについて説明する。	2017/12/6				
	11	株式会社の機関	株主総会、取締役・取締役会、監査役(会)などについて説明する。	2017/12/13				
	12	資金調達、組織再編	資金調達(増資、社債発行など)、組織再編(合併、会社分割など)について説明する。	2017/12/20				
金融商品取引法	13	投資と法	金商法の目的、ディスクロージャー制度などについて説明する。	2018/1/10				
	14	投資と法(続)	不公正取引の規制、金融商品取引業者等の規制などについて説明する。	2018/1/17				
労働法	15	会社と個人	会社の従業員(労働者)としての個人、労働法の意義と体系、労働法における基本的な法理について説明する。	2018/1/24				

科目No.	共催講座AT234	科目名	生物総合評価管理学				副題	農作物の品種改良が世界を救う			
連携機関名	農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	土曜日13:00～17:10	拠点 (開講機関)	東京・お茶の水女子大学 (農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門・ライフワールド・ウォッチセンター(協賛))
科目概要(300字)	私たちが日常食している農作物や畜産物は、様々な改良が施され食料の安定供給に貢献してきた。1996年より遺伝子組換え農作物の本格的な商業栽培が開始され、その利用が急速に拡大し、すでに遺伝子組換え農作物は我々の食生活に不可欠なものになっている。育種の歴史と遺伝資源の重要性を紹介した後に、ゲノム研究等の成果がどのように利用されていくか、遺伝子組換えや新しい育種技術により画期的で魅力的な農作物や樹木、カイコ等が育成される可能性を紹介する。それは農業への貢献だけでなく健康問題等を含め、人類が直面する様々な問題を解決するための1つの重要な技術であることを紹介する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
品種改良の歴史	1	農耕の起源と品種改良の歴史	人類は2万年ほど前から定住生活をはじめ、約1万年前より作物の栽培を始めた。農耕の起源を考えながら、品種改良にまつわる様々なエピソードを交えて、品種改良の歴史を俯瞰する。また、本講座のオリエンテーションとして、本講義の全体について紹介する。	2017/9/30	お茶の水女子大学 本館124号室 (12月9日のみ理学部1号館401号室)	田部井豊	田部井豊	農業・食品産業技術総合研究機構
	2	国内在来種の保存と利用	人々は在来の作物を栽培し、それをもとに品種改良を行ってきた。在来種の多様性とその利用の歴史について概説する。				大澤良	筑波大学
遺伝子組換え	3	遺伝子組換え生物の安全性評価と国際的動向	遺伝子組換え農作物については、生物多様性への影響や食品、飼料としての安全性について、厳しい評価が求められている。安全性評価の歴史と国際的な議論の経緯、それを踏まえた日本の安全性評価性システムと、実際の評価について解説する。	2017/10/21			田部井豊	農業・食品産業技術総合研究機構
ゲノム研究	4	ダイズ育種の世界を変えろ	ダイズは世界で最も重要なマメ科作物である。これまでのダイズ育種と成果などを紹介するとともに、ダイズの収量性や種子成分などの複雑な遺伝様式を持つ形質を改良するために、近年、ゲノム情報の利用が進められている。突然変異体とゲノムワイド関連解析を用いた新しいダイズの育種法について紹介し、今後のダイズ育種について考える。				津田麻衣	筑波大学
遺伝子組換え	5	遺伝子組換え技術と世界的な利用状況	遺伝子組換え技術の誕生と植物への利用について紹介するとともに、現在、世界的に栽培されている遺伝子組換えの作物の実際の状況や、遺伝子組換えパパイヤやゴールデンライスの開発について紹介する。	2017/10/28			田部井豊	農業・食品産業技術総合研究機構
	6	葉緑体形質転換の可能性	葉緑体への遺伝子導入には、核への遺伝子導入とは異なるメリットとデメリットがある。メリットとしては大量のタンパク質を作れる優秀な植物工場として利用できることである。そのメカニズムとともに今後の利用について概説する。				奥崎文子	玉川大学
	7	無花粉スギを作る	スギ花粉症問題解決のために、無花粉スギの選抜と遺伝子組換え技術による無花粉スギの作出について述べるとともに、これまでに林業分野における問題とその取組みを概説する。	2017/11/18			小長谷賢一	森林総合研究所
	8	スギ花粉症を治すコメを作る	コメを食べて「スギ花粉症を治す」。花粉症患者の方には夢のような話を、そのメカニズムや実際に症状が軽くなった人の話を交えて紹介する。また植物の形をした薬はどのようにして実用化されようとしているのか…その一部を紹介する。				高木英典	農業・食品産業技術総合研究機構
	9	機能性農作物の開発と商業利用へ向けた課題	遺伝子組換え技術で健康機能性等を改良したものを第2世代の遺伝子組換え農作物という。ビタミンAを増強したゴールデンライスやスギ花粉米なども相当するが、本講義はさらに多様な機能性作物について紹介する。特に血圧調整や血糖等の調整を可能にするなど将来的に実用化が望まれるような新規の機能性作物を紹介する。	2017/12/2			若佐雄也	
	10	遺伝子組換えカイコの開発と実用化に向けて	2000年にカイコの遺伝子組換え技術が開発されて17年、すでに検査薬や化粧品の生産での利用が始まり、さらに蛍光シルクを作る遺伝子組換えカイコの実用化も近づいている。これまでのカイコ育種の成果と、遺伝子組換えカイコの開発や一般養蚕農家で飼育するための規制対応について概説する。				河本夏雄	
機能解明	11	ネムリユスリカの乾燥耐性とその応用	ネムリユスリカは凄い。乾燥耐性や放射線などの耐性は他の生物では見られないほど強い。そのメカニズムを紹介するとともに、利用について概説する。	2017/12/9			志村幸子	
新しい育種技術	12	新しい育種技術の紹介と研究及び実用化への取組(1)	新しい育種技術には、ゲノム編集、シスジェネシス、世代促進技術など多くの技術が含まれた総称となっている。主要な技術について解説し、それによって何が作り出され、私たちの暮らしにどのように役立つかを概説する。本講義ではゲノム編集を中心に紹介する。				2017/12/16	田部井豊
	13	新しい育種技術の紹介と研究及び実用化への取組(2)	新しい育種技術には、ゲノム編集、シスジェネシス、世代促進技術など多くの技術が含まれた総称となっている。主要な技術について解説し、それによって何が作り出され、私たちの暮らしにどのように役立つかを概説する。本講義ではゲノム編集以外の新しい育種技術について紹介する。					
	14	新しい育種技術(NPBT)の規制問題を考える	ゲノム編集や世代促進技術など、植物における新しい育種技術(NPBT)により品種改良の世界が大きく変わってきた。NPBTで作出され農作物がGMOか非GMOかにより商業利用が大きく異なる。NPBTの研究開発や規制問題について世界的な動向を紹介する。					
これからの育種	15	世界が直面している問題に品種改良はどのように答えるか	世界的な「気候変動」による新たな病害虫の発生は、今後の農業生産上、最も憂慮される問題である。今後の農業生産の問題を概観しながら、今後の遺伝子組換え技術で対応できることを考える。また、遺伝子組換え農作物を利用するために非組換え農作物との共存と消費者の理解が必要であり、共存とサイエンスコミュニケーションについて考える。	2018/1/6				

科目No.	関連講座UT116a	科目名	実践化学物質総合管理(演習)2				副題	SDS作成とGHS分類の実務を学ぶ			
連携機関名	林 浩次	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	水曜日14:10～17:15 (2講義集中)	拠点 (開講機関)	東京・放送大学文京学習センター (東京知の市場・放送大学(協賛))
科目概要	日本での歴史は四半世紀に満たないが、SDS(安全データシート)とGHS(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)の歴史を遡ると、それは長年にわたる世界の先達の努力の積み重ねの成果である。今日のSDSとGHSは、こうした蓄積の上に1992年に開催された国連環境開発会議(UNCED)のアジェンダ21第19章の合意を契機に国際的に統一されてきた規範として構築され、今日では世界標準として機能している。しかし、こうして今や必須の要件となったSDSの作成とGHSの分類を世界を視野に入れながら実際に行うことは、容易なことではない。SDSとGHSの歴史を振り返りつつ、これらの実務に携わってきた自らの経験を踏まえ、さまざまな課題について受講者と共に具体的な解決策を考える。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
総論編	1	SDSとは	SDS(安全データシート)は、日本において、化学物質排出把握管理促進法(化管法)、労働安全衛生法(安衛法)、毒物劇物取締法(毒劇法)の3法により作成が義務付けられている。これら3法が要求している項目が微妙に異なり注意が必要がある。講義では、SDSの歴史的変遷を踏まえつつSDSに記載する16項目について、記載内容や情報調査のポイントを解説する。	2017/10/11	放送大学 東京文教学習 センター	林 浩次	林 浩次	知の市場有志 (元 化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所)
	2	GHSとは	GHSとは「化学品の分類と表示に関する世界調和システム」のことである。GHS分類はGHS国連文章によって規定されているが、各国の実情に応じた対応をすることができる「ビルディングブロックアプローチ」が採用されており、国内対応では注意が必要となる。講義では、GHS分類項目の定義と分類基準について我が国独自の考え方を中心に解説する。併せて、我が国の化学物質関連法令における対応についても言及する。					
	3	GHS分類やSDS作成情報について	SDS作成やGHS分類は正確な情報に基づいて行うべきことは言うまでもないことであるが、簡単なことではない。どのような情報が正確なものなのかを判断しなければならない。講義では、分類基準について詳細に説明し、インターネットで簡単に入手することができる正確とされている情報源について解説する。	2017/10/18				
実務編	4	SDS作成の実際	SDSは、必要事項を漏れなく簡潔に記載する必要がある。また、最新の情報に基づくことも求まられている。長年にわたるSDS作成作業に携わってきた経験と昨年度の受講生の質問点、疑問点を踏まえつつ実際にSDSを作成する際の留意点について受講者と共に考える。	2017/10/18				
	5	GHS分類の実際	GHS分類にあたっては、どの情報を採用すべきかの判断が必要になる。やっかいなことに分類基準は国・地域で微妙に異なっている項目がある。長年にわたるGHS分類作業に携わってきた経験と昨年度の受講生の質問点、疑問点を踏まえつつ実際にGHS分類を行う際の留意点について受講者と共に考える。	2017/10/25				
	6	GHS分類やSDS作成に係る情報収集の実務	SDS作成やGHS分類は正確な情報に基づいて行うべきことは言うまでもないことであるが、限られた時間内に膨大な情報源から正確な情報を見つけ出すことは容易なことではない。講義では、長年の経験を踏まえ実践的な情報収集の方法を紹介する。また、昨年度の受講生の質問点、疑問点を踏まえつつ具体的な事例について、受講者と共に情報収集の実際を学ぶ。					
総括	7	労働現場でのリスクアセスメントにおけるSDSの活用	安衛法が改正され、労働現場でのリスクアセスメントが義務付けられた。SDSを活用した労働現場でのリスクアセスメントについて、受講者と共に総合的に考える。	2017/11/1				
	8	SDS作成とGHS分類に関するQ&A	第1講～第7講の講義で出されたSDSの作成方法、GHS分類方法、情報収集方法などに関する受講生からの様々な質問点、疑問点について受講生と共に総合的に考える。					

科目No.	関連講座 YB612a	科目名	狭山を学ぶ ものづくり編a				副題	世界に羽ばたくビリヤードのすべて			
連携機関名	アダムジャパン 狭山商工会議所 狭山市(元気大学)	水準	基礎	教室定員	25	配信定員	0	講義日時	水曜日 16:30～18:30 土曜日14:00～16:00	拠点 (開講機関)	埼玉・狭山元気プラザ (アダムジャパン、狭山商工会議所、狭山市)
科目概要(300字)	ビリヤードの主要アイテムであるキュースティックとは何なのか。何故、世界中の選手が特定のブランドを選ぶのか。世界中の選手に選ばれるADAMブランドの特徴を紹介。ポケットビリヤード及びキャロムビリヤードについてプロ選手の指導のもとで、知識だけではなく実演実習を体験して、ビリヤードを基礎から学ぶとともに生涯スポーツとしてのビリヤードを知ることによって、その理由を解き明かす。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに	1	ビリヤードことはじめ	ビリヤードとは何か、競技種目はどのようなものがあるか、日本のビリヤードの歴史と日本ビリヤード協会について解説するとともに、あわせて世界のビリヤード事情と今後の展望を論じる。	2017/9/20	講義:狭山市 元気プラザ 一部実習:ア ダムジャパン 社屋	関根 沙織 (アダムジャ パン)	西尾 学	日本ビリヤード協会
ポケットビリヤード	2	ビリヤードの基礎Ⅰ	ビリヤード台と道具であるキュースティックを使用して、持ち方、構え方、手球・的球の狙い方を体験する。まずは、白いドットボール(手球)を真っ直ぐ撞く事に挑戦する。	2017/9/27			須藤 路久	Office BiTS
ビリヤードの道具	3	ビリヤードのキュースティック	ビリヤードの道具であるキュースティックとは何か。40年以上ビリヤードキューを作り続けるものづくりのこだわりを説明する。またキュースティックの構造や仕組みについて説明しつつなぜ、木でないとダメなのかを解き明かす。	2017/10/4			関根 沙織	アダムジャパン
ポケットビリヤード	4	ビリヤードの基礎Ⅱ	「何が違う!？」ビリヤードの他とは違う面白さや「雇うのに資格が必要な不治の病」一旦のめり込んだら二度と忘れられなくなるビリヤードの不思議な面白さを解説する。また、「これさえ出来れば!」という本当の基礎を紹介する。	2017/10/11			須藤 路久	Office BiTS
	5	曲球Ⅰ	ポケットビリヤードには「曲球」と呼ばれる特殊な技術を用いた競技があり、1回撞いただけで複数のボールが同時にポケットインする。その仕組みと面白さを解説する。	2017/10/18			長矢 賢治	日本プロポケットビリヤード連盟
	6	ビリヤードの基礎Ⅲ	ビリヤードインストラクターのアドバイスを交えながらスリーチャンスで幾つ入れられるか、だれでも楽しめるベーシックゲームを紹介する。	2017/10/25			須藤 路久	Office BiTS
	7	世界のポケットビリヤード	ポケットビリヤードのルール、世界のポケットビリヤード大会や裏話を紹介する。全日本ランキング上位のメキメキと頭角を現した新鋭プロがポケットビリヤードの面白さを解説する。	2017/11/1			野内 麻聖美	日本プロポケットビリヤード連盟
キャロムビリヤード	8	世界のキャロムビリヤード	キャロムビリヤードのルール、世界のキャロムビリヤード大会や裏話を紹介する。世界ランキングトップについたプロがキャロムビリヤードの面白さを解説する。	2017/11/8			小林 伸明	日本プロビリヤード連盟
	9	キャロムビリヤードの基礎Ⅰ	キャロムビリヤードに挑戦、ビリヤードテーブルの上を、まるで生き物のように動き回るボールを体験する。プロ指導の元、ビリヤードのルールと面白さを紹介する。	2017/11/11			小林 英明	
ポケットビリヤード	10	曲球Ⅱ	1回撞いただけで3個、4個が一辺にポケットインする。ボールがグーンと曲がったり、宙を飛んだり、ビリヤードの見る楽しみを解説する。	2017/11/15			長矢 賢治	日本プロポケットビリヤード連盟
	11	根拠のある(E.B.T)練習方法Ⅰ	一見もっともらしい話も、確かめてみると実は誤りだったということはよくあることである。ビリヤードの物理的な面と人間の生理的な体の動きとの関係について解説する。	2017/11/22			須藤 路久	Office BiTS
	12	試合中の見方と考え方	世界で活躍するプロ選手とはどのようなレベルなのか、実際にランキングトップのプロ選手が目の前で模範試合を行う。また、試合中はどのような事をイメージしプレーをしているのか、分かり易い実況中継を交えて紹介する。	2017/11/29			梶谷 景美 野内 麻聖美	日本プロポケットビリヤード連盟/Office BiTS
	13	ビリヤードの世界	眼ではとらえることのできない1/1000秒の世界では何が起こっており、ポケットビリヤードのキュースティックで球(ボール)を撞いた場合の動きはどのように変化しているのか、実演と共にハイスピードカメラで撮られた映像を紹介する。	2017/12/6			李 佳 須藤 路久	
総復習	14	キャロムビリヤードの基礎Ⅱ	キャロムビリヤードに挑戦。手玉を撞き、的玉に最低3回クッションに入れる。プロのアドバイスを交えながら、基本的な取り口を覚えさえすれば、非常に楽しめるゲームである。その奥の深さを紹介する。	2017/12/9			梅田 竜二	日本プロビリヤード連盟
	15	根拠のある(E.B.T)練習方法Ⅱ	何が正しいのかを探るのではなく、正しいと分かっていることを身につける練習法を紹介する。それをする為にE.B.T(エビデンス・ベイスド・シンキング＝根拠のある思考)練習方法を解説する。	2017/12/13			須藤 路久	Office BiTS

日韓歴史 1 ・ 2

東京韓国学校は、2016 年度から知の市場に参画し、2016 年度後期に共催講座として古代史や近現代史から舞踊や料理といった分野まで広い分野を包括する KT724「韓国学 a」を開講し、多彩な講師陣の熱意に満ち溢れた講義と受講者の自己研鑽への旺盛な意欲に支えられて受講修了証を発行して成功裏に終了した。

さらにそれに加えて、この KT724「韓国学 a」の経験の上にその姉妹編として新たに、2017 年度前期の科目として KT725a「日韓歴史 1」と後期の科目として KT725b「日韓歴史 2」の 2 科目を関連講座として開講する。これらの科目はより広い人々の参画を想定するとともに、その講師陣の約半数の 19 講師は韓国に生活や職業の足場を有しており、この点からも本科目は国際性に富んだ科目であり、海を越えた相互の認識の深化に資する新たな可能性を秘めている。

1. 開講機関：東京韓国学校

2. 開講科目：前期と後期に各 1 科目

前期：KT725a 日韓歴史 1 2017 年 4 月 29 日～9 月 30 日

後期：KT725b 日韓歴史 2 2017 年 10 月 14 日～2018 年 2 月 24 日

3. 開講日時；原則、毎月の第 2・4 土曜日

1、2 時間目（80 分） ---12：30～13：50

3、4 時間目（80 分） ---14：10～15：30

4. 開講場所：東京韓国学校中・高等部 地下 1 階 多目的室

住所：東京都新宿区若松町 2-1(大江戸線 若松河田駅 河田口より徒歩約 6 分)

http://www.tokos.ed.jp/icons/app/cms/?html=/home/s1_7.html&shell=/index.shell:24

5. 申し込み先・連絡先のアドレス

日本語対応；< k_ryoha821@yahoo.co.jp >

韓国語対応：< japansunshine@hanmail.net>

2017 年前期科目 KT725a『日韓歴史 1』と後期科目 KT725b『日韓歴史 2』シラバス

□講座シラバス

N O	講義日	講義内容	講師	所属	補助 講師
1	4月29日 (土)	韓日の建国理念形成	金得永校長博士	東京韓国学校校長	
2	"	伽耶王国と倭/ソソノとスサノオ	金 一 男 詩 人	韓日時調生活幹事	
3	5月13日 (土)	大和言葉と伽耶、百済語の比較	金 得 永 校 長 高 麗 児 先 生	東京韓国学校	
4					
5	5月27日 (土)	東アジア最大 白村江戦争	신 중 원 教 授	韓国学中央研究院	
6	"	広開土大王碑の秘密と東アジアの覇権	신 중 원 教 授	"	신명훈
7	6月3日 (土)	忘れられた未知の王国渤海への招待	김진관責任研究 員	比較文化研究所	
8	"	渤海と日本の関係	김진관研究員	"	최세희 장하늘
9	6月10日 (土)	朝鮮通信史行列図を通してみる韓日関係	정 은 주 研究員	王室文化研究室	이재빈 류세빈
10	"	朝鮮通信史花園 1 8 世紀を日本の画幅	정 은 주 研究員	"	
11	6月24日 (土)	古墳文化を通してみる古代日韓交流	구 난 희 教 授	韓国学中央研究院	
12	"	日本の新羅侵攻計画	구 난 희 教 授	"	
13	7月8日 (土)	韓国文化と日本文化の交流	정해은責任研究 員	韓国知識情報セン ター	
14	"	壬辰倭乱期 の 朝鮮 水軍と日本軍	정해은責任研究 員	"	
15	9月9日 (土)	朝鮮白磁を知らせた浅川巧兄弟	유 시 경 教 授	성공회大教授	
16	"	高句麗の文化伝来と高麗神社	이 덕 원 院 長	埼玉院長	김영주 김세리
17	9月30日 (土)	韓日の仏教と交流	金 一 男 詩 人	韓日時調生活幹事	
18	"	昆支王と武寧王の秘密	최 재 국 博 士	埼玉大学大学院	
19	10月14日 (土)	七支刀と須佐神社銅鏡	최 재 국 博 士	埼玉大学大学院	
20	"	面白い韓国語と日本語	金得永 高麗 児	東京韓国学校	
21	10月28日 (土)	姜沆、朝鮮の儒学と日本の儒学	金 一 男 詩 人	韓日時調生活幹事	
22	"	日本古代神社の中の朝鮮文化1	香 川 正 弘 教 授	上智大学名誉教授	
23	11月11日 (土)	日本古代神社お寺の中の朝鮮文化2	白 井 得 先 生 金 得 永	東京韓国学校	
24	"	日本古代神社の中の朝鮮文化3	金 得 永 校 長	東京韓国学校	
25	11月25日 (土)	アメノヒボコとヨノラン・セオニョ伝 説	金 一 男 詩 人	韓日時調生活幹事	
26	"	李真榮父子と和歌山城主	高 麗 児 先 生	東京韓国学校	
27	12月9日 (土)	雨森芳洲と朝鮮通信史	위 성 전 博 士	学習院大学博士	
28	"	日韓歴史共通教科書からみる歴史教育	김 광 식 博 士	日本学術振興協会	
29	12月16日 (土)	沈寿官、李參平などの朝鮮最高の技術 者の歴史	이 충 호 博 士	熊本国際大学	
30	"	関東大地震の歴史	山 田 博 士		
31	1月13日 (土)	韓国の崔順姫、韓日活動史	朴 景 欄 先 生	東京韓国学校	
32	"	尹ハクジャ女史と木浦園	長 野 教 授	大東文化大学	
33	1月 20日 (土)	韓日関係史の再発見シンポジウム	関 係 者		
34					
35	2月10日 (土)	韓日文化交流 機関 団体 の役割と 課 題	신 경 호 教 授	国土館大教授	
36	"	韓日書芸交流の歴史	김 주 회 博 士		
37	2月24日 (土)	歴史体験学習(希望)	希 望 者		
38	"				

日韓歴史 1・2 (改訂)

東京韓国学校は、2016 年度から知の市場に参画し、2016 年度後期に共催講座として古代史や近現代史から舞踊や料理といった分野まで広い分野を包括する KT724「韓国学 a」を開講し、多彩な講師陣の熱意に満ち溢れた講義と受講者の自己研鑽への旺盛な意欲に支えられて受講修了証を発行して成功裏に終了した。

さらにそれに加えて、この KT724「韓国学 a」の経験の上にその姉妹編として新たに、2017 年度前期の科目として KT725a「日韓歴史 1」と後期の科目として KT725b「日韓歴史 2」の 2 科目を関連講座として開講する。これらの科目はより広い人々の参画を想定するとともに、その講師陣の約半数の 19 講師は韓国に生活や職業の足場を有しており、この点からも本科目は国際性に富んだ科目であり、海を越えた相互の認識の深化に資する新たな可能性を秘めている。

後期の開講場所などが変更になった。

1. 開講機関： 前期 東京韓国学校
後期 主催機関：千葉韓国教育院 推進機関：東京韓国学校
2. 開講科目：前期と後期に各 1 科目
前期：KT725a 日韓歴史 1 2017 年 4 月 29 日～9 月 30 日
後期：KT725b 日韓歴史 2 2017 年 10 月 14 日～2018 年 2 月 24 日
3. 開講日時；原則、毎月の第 2・4 土曜日
前期 1、2 時間目 (80 分) ---12：30～13：50
3、4 時間目 (80 分) ---14：10～15：30
後期 1、2 時間目 (80 分) ---14：00～15：20
3、4 時間目 (80 分) ---15：40～17：00
4. 開講場所：
前期 東京韓国学校中・高等部 地下 1 階 多目的室
住所：東京都新宿区若松町 2-1(大江戸線 若松河田駅 河田口より徒歩約 6 分)
http://www.tokos.ed.jp/icons/app/cms/?html=/home/s1_7.html&shell=/index.shell:24
後期 韓国 YMCA アジア青少年センター 2F サランチェ
住所：東京都千代田区猿樂町 2-5-5 YMCA アジア青少年センター (水道橋 徒歩 5 分) 電話 03-5259-0112、03-3233-0611 ayc@ymca.japan.org
5. 申し込み先・連絡先のアドレス
日本語対応；< k_ryoha821@yahoo.co.jp >
韓国語対応：< japansunshine@hanmail.net >

2017 年前期科目 KT725a『日韓歴史 1』と後期科目 KT725b『日韓歴史 2』シラバス (改)

2017. 9.

NO	講義日	講義内容	講師	所属	補助
1	4 月 29 日 (土)	韓日の建国理念形成	金得永校長	東京韓国学校 校長	윤준희 정연지
2	"	伽耶王国と倭/ソソノとスサノオ	金一男詩人	韓日時調生活幹事	
3	5 月 13 日 (土)	大和言葉と伽耶、百済語の比較	金得永校長	東京韓国学校	신명훈 이재빈
4	"		高麗児		
5	5 月 27 日 (土)	東アジア最大 白村江戦争	辛鍾遠教授	韓国学中央研究院	
6	"	広開土大王碑の秘密と東アジアの覇権	辛鍾遠教授	"	
7	6 月 3 日 (土)	忘れられた未知の王国渤海への招待	金鎮光研究員	比較文化研究所	
8	"	渤海と日本の関係	金鎮光研究員	"	
9	6 月 10 日 (土)	朝鮮通信史行列図を通してみる韓日関係	鄭恩主研究員	王室文化研究室	
10	"	朝鮮通信史花園 18 世紀を日本の画幅	鄭恩主研究員	"	
11	6 月 24 日 (土)	古墳文化を通してみる古代日韓交流	具欄喜教授	韓国学中央研究院	
12	"	日本の新羅侵攻計画	具欄喜教授	"	
13	7 月 8 日 (土)	韓国文化と日本文化の交流	鄭海恩研究員	韓国知識情報センター	
14	"	壬辰倭乱期 の 朝鮮 水軍と日本軍	鄭海恩研究員	"	
15	9 月 9 日 (土)	日本で再び出会った尹東柱	柳時京神父	大韓聖公会教会 立教大学韓国事務長	
16	"	高句麗の文化伝来と高麗神社	李徳源院長	埼玉院長	김영주 김세리
17	9 月 30 日 (土)	韓日の仏教と交流	金一男詩人	韓日時調生活幹事	
18	"	姜沆、朝鮮の性理学と日本の朱子学			
19	10 月 14 日 (土)	昆支王と武寧王の秘密	崔載國	埼玉大学大学院	
20	"	七支刀と須佐神社銅鏡			
21	10 月 28 日 (土)	面白い韓国語と日本語	金得永 高麗児	東京韓国学校	
22	"	百済王敬福と黄金山神社	權純縣	東北文教大学講師	
23	11 月 11 日 (土)	日本の中の韓国文化 (近畿編)	柳在順	韓日歴史研究家	
24	"	日本古代神社の中の朝鮮文化	金得永校長	東京韓国学校	
25	11 月 25 日 (土)	アメノヒボコとヨノラン・セオニョ伝説	金一男詩人	韓日時調生活幹事	
26	"	李真栄父子と和歌山城主	高麗児	東京韓国学校	
27	12 月 9 日 (土)	雨森芳洲と朝鮮通信史	魏聖銓博士	法政大学講師	

28	”	日韓歴史共通教科書からみる歴史教育	金廣植博士	日本学術振興協会	
29	12月16日(土)	沈寿官、李参平など朝鮮最高の技術者の歴史	李忠浩博士	熊本国際大学	
30	”	地政学から見た日韓の相違点	権鎔大	日韓交流祭協会 理事兼事務局長	
31	1月13日(土)	韓国の崔承喜、韓日活動史	朴景蘭	東京韓国学校	
32	”	尹ハクジャ女史と木浦との縁	永野教授	大東文化大学	
33	1月20日(土)	韓日関係史の再発見	李史好	日本中央學術研究所 學術研究室長	
34	”				
35	2月10日(土)	韓日文化交流 機関 団体 の役割と課題	申景浩教授	国土館大教授	
36	”	韓日書芸交流の歴史	金周会教授		
37	2月24日(土)	歴史体験学習(希望)	希望者		
38	”				